

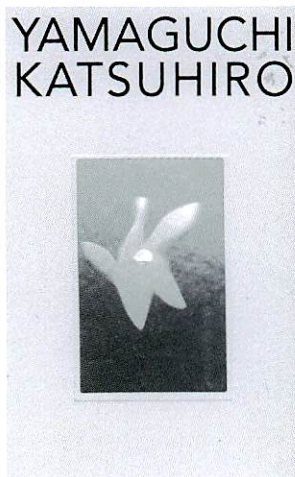
1 企画展

メディア・アートの先駆者
山口勝弘展
「実験工房」からテアトリーヌまで

- 会期 平成18年4月8日(土)～5月14日(日)
- 主催等 主催：茨城県近代美術館／読売新聞東京本社／美術館連絡協議会
協賛：花王株式会社／関研商事株式会社
協力：日本ビクター株式会社
調査協力：科学研究費補助金共同研究「戦後の日本における芸術とテクノロジー」
- ポスター B2 B1
- チラシ A4 (2種：一般用／学校配布用)
- 図録 18.0cm×11.5cm 308頁
編集：神奈川県近代美術館／茨城県近代美術館
発行：美術館連絡協議会
- 子供向けガイド A4 (両面印刷)
(展示室無料配布) わくわくガイド
・キラキラ ピカピカ これも彫刻？
・メディア・アートって何？なに？ナニ？
- 入場者数 5,558人
- 観覧料 一般830(700)円／高大生580(470)円／小中生350(230)円
※()内は20名以上の団体料金、および入館引換券(JR東日本びゅうプラザ、みどりの窓口で3月22日から発売)の料金
- 出品点数 合計201点
- 内容解説
山口勝弘(1928～)は、1950年代初めに結成された、美術家・音楽家・評論家による前衛的な総合芸術グループ「実験工房」の中心人物として知られている。彼の実験的な制作は光や映像の使用へと展開し、60年代以降、日本の

ビデオ・アート、テクノロジー・アートの代表作家として多くの国際展に参加。その後も大阪万博(1970)の三井グループ館の総合プロデュースや各地の公共施設、商業施設のディスプレイなど、常に時代に即して芸術と社会の関係を追究してきた。テクノロジーが拓く新しいアートの可能性を追究してきた山口勝弘。美術、デザイン、そして評論、教育といった多彩な領域にわたる活動を回顧する展覧会となり、初期の抽象絵画から、「実験工房」での共同制作作品、山口芸術の原点ともいべき「ヴィトリーヌ」シリーズ、60年代に始まる多素材の彫刻、空間プロデュース、70年代からのメディア・アーティストとしての展開、そして最新作のテアトリーヌ・シリーズまで、資料と併せて約200点を、7つのセクションに分けて紹介した。また、多岐にわたる作品の特徴を捉え、映像作品や光を用いた立体作品、巨大なチューブ状の作品など、展示室ごとに様々な作品を展示・構成することで、現代美術の多様な表現を示すこととなった。

- 担当 吉田衣里(学芸員)
- 関連事業
美術講演会
「山口勝弘と20世紀のメディア・アート」
講師 井口壽乃氏(埼玉大学助教授)
日時 4月22日(土) 午後1時30分～3時30分
会場 地階講堂
※入場無料
企画展ギャラリートーク
担当 井野功一(前山口展担当、茨城県陶芸美術館学芸員) 吉田衣里(学芸員)
日時 4月15日(土)、5月6日(土)
各日午後1時30分～2時30分
会場 企画展示室
ファミリーワークショップ
＜山口ワールドを体験しよう＞
講師 坂井尊美(首席学芸主事) 山本哲士(主任学芸員)



図録



ポスター B2



チラシ A4



わくわくガイド

日時 4月30日(日) 午前10時～午後3時30分
 会場 企画展示室, 地階講座室
 てらんかいわくわくツアー
 担当 山本哲士(主任学芸員)
 日時 4月29日(土・祝) 午前10時～12時
 会場 企画展示室

・山口勝弘展 4月21日
 【読売新聞】
 ・メディア・アートの先
 駆者の200点紹介 県
 近代美術館で山口勝弘
 展
 5月2日【朝日新聞】

●関連記事

- ・山口勝弘展始まる 4月9日【読売新聞】
- ・メディア・アートの先駆者山口勝弘展
 上4月5日 下4月12日【読売新聞】
- ・メディア・アートの先駆者「山口勝弘展～実験工房から
 テアトリーヌまで」 4月12日【東京新聞】
- ・「光の彫刻」など先端技術を展覧 きょうから近代美術館
 4月16日【茨城新聞】
- ・メディア・アートの先駆者山口勝弘さんの作品展
 4月19日【東京新聞】
- ・美術講演会「山口勝弘と20世紀のメディア・アート」
 4月19日【東京新聞】

●関連放送

- ・「ミュージアムガイド」
 4月8日【IBS茨城放送】
- ・「ニュース」4月12日
 【NHK県域デジタル】
- ・「スクーパーレポート」
 4月21日【IBS茨城放送】



わくわくガイド

●出品作品一覧

No.	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ(縦×横)(高さ×幅×奥行)cm 上映時間	所蔵先(表記の無いものは作家蔵)
■ I ツェッペリンとニュー・ヴィジョン * : 写真資料 ☆ : 追加出品					
I-1	無題	1948年	絵具, 木	33.3×41×1.5	
I-2	無題	1949年	油彩, カンヴァス	27.3×22	
I-3	構想: 運動	1950年代	鉛筆, 水彩, 紙	13.7×23.6	
I-4	構想	1950年代	油彩, 紙	32.7×24.4	
I-5	構想: 宇宙	1950年代	クレヨン, 紙	26×34.2	
I-6	宇宙の運行	1950年	油彩, カンヴァス	31.8×41	千葉市美術館
I-7	無題	1951年	油彩, カンヴァス	50.5×65.5	千葉市美術館
■ II 「実験工房」の時代					
☆*	園田高弘の帰国歓迎会での記念撮影	1954年	写真(撮影: 大辻清司)	複写プリント	
II-1	横山はるひバレエ団 公演プログラム (装丁: 北代省三)	1951年	印刷物	25.9×18.1	
II-2*	横山はるひバレエ団 公演『河童』舞台 (日比谷公会堂, 美術: 北代省三)	1951年	写真(撮影: 鈴木博義)	複写プリント	
II-3	「実験工房第1回発表会 ピカソ祭」プログラム (11月16日, 日比谷公会堂)	1951年	印刷物	26.1×18.5	川崎市岡本太郎美術館
II-4*	ピカソ祭バレエ公演『生きる喜び』舞台模型 (美術: 北代省三, 山口勝弘, 福島秀子)	1951年	写真(撮影者不明)	複写プリント	
II-5	「実験工房第2回発表会 現代作品演奏会」プロ グラム(1月20日, 女子学院講堂, 装丁: 北代省三)	1952年	印刷物	25.7×18.2	
II-6	「実験工房第3回発表会」案内状(2月1-10 日, タケミヤ画廊, 装丁: 北代省三)	1952年	印刷物	9.1×14	
II-7	「実験工房第4回発表会」チケット(8月9日, 女子学院講堂, 装丁: 山口勝弘)	1952年	印刷物	印刷物	
II-8	「実験工房第4回発表会」プログラム (装丁: 北代省三)	1952年	印刷物	25.7×18.2	
II-9*	「実験工房第4回発表会」北代省三のスタビルに よる舞台構成	1952年	写真(撮影: 北代省三)	11.6×15.4	
II-10	「実験工房第5回発表会」プログラム(9月30 日, 第一生命ホール, 装丁: 北代省三)	1953年	印刷物	25.7×18.2	
II-11	「実験工房第5回発表会」案内状 (装丁: 山口勝弘)	1953年	印刷物	10×14.8	
II-12*	「実験工房第5回発表会」会場	1953年	写真(撮影: 北代省三)	複写プリント	
☆	「実験工房第5回発表会」ポスター (装丁: 山口勝弘)	1953年	印刷物	18.4×53.9	
II-13	『試験飛行家W・S氏の眼の冒険』 (構成: 山口勝弘, 音楽: 鈴木博義)	1953/ 1986年	オートスライド(DVD に変換)	4分51秒	
II-14	『水泡(みなわ)は創られる』 (構成: 福島秀子, 音楽: 福島和夫)	1953/ 1986年	オートスライド(DVD に変換)	6分18秒	

No.	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ(縦×横)(高さ×幅×奥行)cm 上映時間	所蔵先(表記の無いものは作家蔵)
II-15	『見知らぬ世界の話』 (構成：北代省三、音楽：鈴木博義・湯浅譲二)	1953/ 1986年	オートスライド(DVD に変換)	8分46秒	
II-16	『アサヒグラフ』(2月11日号)	1953年	発行：朝日新聞社	36.5×26(見開き)	
II-17	『アサヒグラフ』2月11日号掲載「APN」 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953年	発行：朝日新聞社	18×10	
II-18	「APN」No.1 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953-54 /2002年	写真(ゼラチン・シル バープリント)	16×11	神奈川県立近代美術館
II-19	「APN」No.2 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953-54 /2002年	写真(ゼラチン・シル バープリント)	18.8×12.6	神奈川県立近代美術館
II-20	「APN」No.3 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953-54 /2002年	写真(ゼラチン・シル バープリント)	24.4×16.5	神奈川県立近代美術館
II-21	「APN」No.4 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953-54 /2002年	写真(ゼラチン・シル バープリント)	18.8×12.6	神奈川県立近代美術館
II-22	「APN」No.5 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953-54 /2002年	写真(ゼラチン・シル バープリント)	11.6×19	神奈川県立近代美術館
II-23	「APN」No.6 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953-54 /2002年	写真(ゼラチン・シル バープリント)	24×17.9	神奈川県立近代美術館
II-24	「APN」No.7 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953-54 /2002年	写真(ゼラチン・シル バープリント)	16×11.2	神奈川県立近代美術館
II-25	「APN」No.8 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953-54 /2002年	写真(ゼラチン・シル バープリント)	18.8×16	神奈川県立近代美術館
II-26	「APN」No.9 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953-54 /2002年	写真(ゼラチン・シル バープリント)	16×11	神奈川県立近代美術館
II-27	「APN」No.10 (構成：山口勝弘、撮影：大辻清司)	1953-54 /2002年	写真(ゼラチン・シル バープリント)	22.5×19.5	神奈川県立近代美術館
II-28	「実験工房 シェーンベルク作品演奏会」プロ グラム(10月、山葉ホール)	1954年	印刷物	25.7×18.2	
II-29*	映画『銀輪』編集中の松本俊夫(左)と山口勝弘(右)	1955年	写真(撮影：北代省三)	10.5×16.1	
II-30*	映画『銀輪』特殊撮影現場で輪を吊る松本俊夫	1955年	写真(撮影：大辻清司)	11.4×11.6	
II-31*	映画『銀輪』のセット	1955年	写真(撮影：大辻清司)	11.6×11.4	
II-32	「パレエ実験工房」プログラム(3月29-31日、俳優座)	1955年	印刷物	25.7×18.3	川崎市岡本太郎美術館
II-33ab*	「イルミナシオン」(パレエ実験工房、美術：山口勝弘)	1955年	写真(撮影：大辻清司)	10.5×15.7	
II-34*	『乞食王子』(パレエ実験工房、美術：福島秀子)	1955年	写真(撮影：大辻清司)	10.6×15.8	
II-35*	『未来のイヴ』(パレエ実験工房、美術：北代省三)	1955年	写真(撮影：大辻清司)	複写プリント	
II-36	「実験工房 室内楽作品演奏会」プログラム (7月12日、山葉ホール)	1955年	印刷物	25.4×18.2	
II-37	「実験工房作品展」案内状(11月28日-12月3 日、村松画廊)	1955年	印刷物	10×14.7	
II-38	「ミュージック・コンクレート 電子音楽オーデ ィション」プログラム(2月4日、山葉ホール)	1956年	印刷物	14.1×15	
II-39*	「ミュージック・コンクレート 電子音楽オーデ ィション」山口勝弘によるロープを用いた会場構成	1956年	写真(撮影：大辻清司)	10.6×15.6	
II-40	「実験工房のメンバーによる新しい視覚と空間を たのしむ夏のエキシビション」案内状(第1回： 8月1-15日、第2回：8月16-30日、風月堂)	1956年	印刷物	19.1×12.5	
II-41*	「実験工房のメンバーによる新しい視覚と空間 をたのしむ夏のエキシビション」会場	1956年	写真(撮影：北代省三)	複写プリント	
II-42	「花柳寿々撰・寿々紫リサイタル」プログラム (1月29日、東横ホール)	1957年	印刷物	29.7×21	
■ III ヴィトリース					
III-1	構想：ヴィトリース	1950年代	クレヨン、紙	10×14.8	
III-2	ヴィトリース No.37	1953年	油彩、ガラス、合板	58.7×49.5×10	神奈川県立近代美術館
III-3	ヴィトリース アフリカの花	1953年	油彩、ガラス、合板	65×96×10	パーフェクト・リパティエ-教団
III-4	ヴィトリース	1955年	油彩、ガラス、紙、合板	55.6×64.6×10	茨城県近代美術館
III-5	ヴィトリース 魚	1955年	油彩、ガラス、紙、合板	26×37×10	茨城県近代美術館
III-6	ヴィトリース 鯨	1955年	油彩、ガラス、合板	65.8×186.9×10	川村記念美術館
III-7	ヴィトリース 静かな昇天	1955年	油彩、ガラス、合板	96.7×66×9.3	川村記念美術館
III-8	ヴィトリース 道	1956年	油彩、ガラス、紙、合板	65.3×35.2×8.6	千葉市美術館
III-9	降りてくる華	1956年	アクリル絵具、ガラス	52.8×45	
III-10	ヴィトリース 愛の仮説	1956年	油彩、ガラス、紙、合板	60.7×95.2×10	川村記念美術館
III-11	ヴィトリース 海のシンフォネット	1957年	油彩、ガラス、紙、木板	62.5×84.3×9.8	川村記念美術館
III-12	ヴィトリース 麒麟	1958年	合成樹脂塗料、ガラス、 合板、蛍光灯	184×92×25	
III-13	「山口勝弘 ヴィトリース作品展」案内状 (10月25-29日、和光ギャラリー)	1955年	印刷物	14.5×10.4	
III-14ab*	「山口勝弘 ヴィトリース作品展」会場 (会場構成：高村英也、佐々文男)	1955年	写真(撮影：大辻清司)	a)10.9×11.1 b)11.3×15.4	

No.	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ(縦×横) (高さ×幅×奥行)cm 上映時間	所蔵先(表記の無いものは作家蔵)
Ⅲ-15	「山口勝弘・清家清 装飾空間展」案内状 (12月3-8日,和光ギャラリー)	1956年	印刷物	18.4×27.9	
Ⅲ-16ab*	「山口勝弘・清家清 装飾空間展」会場 (会場構成:清家清)	1956年	写真(撮影:大辻清司)	a)11.2×14 b)11×11	
Ⅲ-17	「光とガラスによる作品展」案内状 (12月8-12日,和光ギャラリー)	1958年	印刷物	18×27.7	
Ⅲ-18*	「光とガラスによる作品展」会場 (会場構成:丹下健三)	1958年	写真(撮影:大辻清司)	19.6×24.5	

■Ⅳ 360°の想像力:60年代の素材の実験

Ⅳ-1	金網彫刻 [1]	1961年	金網	55×45	
Ⅳ-2	金網彫刻 [2]	1961年	金網	40×30	
Ⅳ-3	金網彫刻 [3]	1961年	金網	37×51	
Ⅳ-4	金網彫刻 [4]	1961年	金網	54×28	
☆	金網彫刻 [5]	1961年	金網	49×29,30×25	
Ⅳ-5	ワックス・オブジェ	1964年	パラフィンワックス, 綿, 墨粉	19.9×26.4×20.3	
Ⅳ-6	アクリル樹脂の試作オブジェ [1]	1960年代	アクリル樹脂	30×20×25	
Ⅳ-7	アクリル樹脂の試作オブジェ [2]	1960年代	アクリル樹脂	25×60×45	
Ⅳ-8	マグネティック・レリーフ	1963年	木, 鉄, 磁石, 絵具	100×100×5.2	
Ⅳ-9	風の樞	1961年	金属, 布	180×55×35	川村記念美術館
Ⅳ-10	組合せレリーフ	1962年	金属, 布	4点組	川村記念美術館
Ⅳ-11	ペン	1963年	金属, 布	226×105×51	川村記念美術館
Ⅳ-12	推力 No.3	1965年	鉄, カンヴァス	50.5×136×91.5	川村記念美術館
Ⅳ-13	組合せレリーフ	1984年	鉛, 木	90×330×61	セゾン現代美術館
Ⅳ-14	叫び	1992年	金属, 布	188×188×43	
Ⅳ-15	光のオブジェ T	1967年	アクリル樹脂, 蛍光灯	180×30×30	
Ⅳ-16	港 No.2	1967年	アクリル樹脂, 電球, 蛍光灯	160×200×200	愛知県美術館
Ⅳ-17	ユニヴァース	1968年	アクリル樹脂, 蛍光灯, ストロボ	202×202×35.5	東京国立近代美術館
Ⅳ-18*	「現代のヴィジョン展3:SPACEと形態 山口勝弘の場合」会場(6月25日-7月2日,サトウ画廊)	1961年	写真(撮影:大辻清司)	10.5×15.7	
Ⅳ-19*	「山口勝弘・多田美波・福岡道雄 三人展」会場(12月3-8日,新宿第一画廊)	1963年	写真(撮影:大辻清司)	19.3×19.3	
Ⅳ-20	「山口勝弘・多田美波・福岡道雄 三人展」カタログ	1963年	印刷物	35×12.3	
Ⅳ-21	「フルックス週間」案内状(9月6-14日,画廊クリスタル)	1965年	印刷物	9×14	
Ⅳ-22ab*	「フルックス週間」会場	1965年	写真(撮影:山口勝弘)	10.4×15.6	
Ⅳ-cd*	「フルックス週間」塩見允枝子のイベント《ウォーター・ミュージック》	1965年	写真(撮影:山口勝弘)	10.4×15.6	
Ⅳ-23e*	「フルックス週間」刀根康尚のイベント	1965年	写真(撮影:不明)	10.4×15.6	
Ⅳ-24*	「空間から環境へ」展(銀座松屋)の企画で塩見允枝子の《Compound View No.1》に参加する塩見, 山口勝弘, 秋山邦晴, 幾嘯(11月14日, 草月会館ホール)	1966年	写真(撮影:酒井啓之)	10.7×15.9	
Ⅳ-25	「バイオゴード・プロセス」チラシ(12月14-15日, 草月会館)	1966年	印刷物	18.7×25.6	
Ⅳ-26*	「バイオゴード・プロセス」会場 山口の《Cの関係》による舞台構成	1966年	写真(撮影:不明)	15.3×15.4	

■Ⅴ 「空間から環境へ」:デザインとプロデュース・ワーク

V-1a-f*	クラブ・フォンテヌ(銀座) 内装	1966年	写真(撮影:作本邦治)	パネル展示	
V-2*	6×6(会場写真)	1969年	写真(撮影:酒井啓之)	18.6×24.9	
V-3*	空間の仕切り(会場写真)	1969年	写真(撮影:作本邦治)	19.8×22.9	
V-4*	水変容器(エレクトロマジカ出品作)	1969年	写真(撮影:作本邦治)	19.1×19.1	
V-5	「エレクトロマジカ 国際サイテック・アート展」チラシ(4月26日-5月25日,ソニービル)	1969年	印刷物	26×36.5	
V-6	「エレクトロマジカ 国際サイテック・アート展」ポスター(『美術手帖』付録)	1969年	印刷物	76×57	
V-7	大阪万博 三井グループ館 構想ドローイング群	1969年頃	ドローイング, 紙		
☆	大阪万博 山口勝弘プレスパス	1970年	ラミネートパウチカード	6.4×8.9	
V-8*	大阪万博 三井グループ館の前の山口勝弘	1970年	写真(撮影:不明)	パネル展示	
V-9*	大阪万博 三井グループ館 模型	1970年	写真(撮影:作本邦治)	パネル展示	
V-10*	大阪万博 三井グループ館 内部	1970年	写真(撮影:大橋富夫)	パネル展示	
V-11*	大阪万博 三井グループ館 構造解説	1970年	印刷物	パネル展示	
V-12	光のオブジェ Y	1970年	鉄, 蛍光灯	104×43×23.3	
V-13*	「ワークショップ・オフオフ」店内	1971年頃	写真(撮影:不明)	パネル展示	
V-14	「ワークショップ・オフオフ」案内状	1971年頃	印刷物	7.5×15	

No.	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ(縦×横/高さ×幅×奥行)cm 上映時間	所蔵先 (表記の無いものは作家蔵)
■VI メディアとコミュニケーション					
VI-1	《Eat》	1972年	DVD(VHSより変換)	13分40秒	
VI-2ab*	「ビデオ・コミュニケーション/DO IT YOURSELF kit」会場(2月24日・3月6日,ソニービル)	1972年	写真(撮影:ビデオジャーナル)	a)10.5×16 b)11.1×17.2	
VI-3*	ビデオひろばのメンバーによる発表会場での編集作業(恵比寿)	1973年	写真(撮影:大橋富夫)	11.2×16.4	
☆*	ビデオひろばによるプレゼンテーション(東北電力ショールーム)	1974年	写真(撮影:不明)	11.3×17	
VI-4	「TOKYO-NEW YORK VIDEO EXPRESS」チケット(1月7-9日,天井棧敷館)	1974年	印刷物	5.0×11.3	
VI-5	「TOKYO-NEW YORK VIDEO EXPRESS」チラシ	1974年	印刷物	29.5×21.1	
VI-6ab*	「TOKYO-NEW YORK VIDEO EXPRESS」会場	1974年	写真(撮影:ビデオジャーナル)	12×16.3	
VI-7ab*	ビデオひろば主催「ビデオゲームフェスティバル」会場(8月9-12日,軽井沢観光会館)	1974年	写真(撮影:不明)	a)12.3×17.3 b)11.2×16.2	
VI-8	「国際ビデオアート展TOKYO'78」チラシ(草月会館,5月20-27日)	1978年	印刷物	18.2×25.9	
VI-9	「国際ビデオアート展TOKYO'78」カタログ	1978年	印刷物	25.5×18.2	
VI-10a*	「国際ビデオアート展TOKYO'78」ビデオライブラリー	1978年	写真(撮影:ビデオジャーナル)	11.7×17.4	
VI-10b*	「国際ビデオアート展TOKYO'78」シンポジウム会場	1978年	写真(撮影:藤塚光政)	11.4×17.3	
VI-11	ラス・メニーナス	1974/2006年 (再構成)	モニター,パネル,スクリーン,ビデオカメラ,再生機,分配器,椅子,机,DVD(Uマチックより変換)		
VI-12	「山口勝弘 ビデオラマ展」ポスター(東京・南画廊,大阪・ソニータワー)	1977年	印刷物	53.7×54	
☆	「Soft Cosmos-Year」	1978年	DVD(VHSより変換)		
VI-13	作品集「Yamaguchi Katsuhiko Tape Works 1977-1995」	1995年	DVD(VHSより変換)	2時間15分	
VI-14	アーチ	1988年	モニター,再生機,分配器,木,DVD(VHSより変換)	290×260×50	
VI-15	夢遊桃源図・電腦影絵彫刻Ⅰ	1999年	モニター,再生機,分配器,ガラス,木,DVD(mini DVより変換)	250×262×900	
VI-16	夢遊桃源図・電腦影絵彫刻Ⅱ	1999年	プロジェクター,再生機,アクリルパネル,DVD(mini DVより変換)	300×225	
VI-17	龍	2001/2006年(再構成)	FRP,鏡	直径30,総延長3,330	
VI-18	WAVE LENGTH(音楽:武満徹)	1984/1998年(再構成)	DVD(VHSより変換)	27分51秒	
VI-19	コピーグラフィィー	1977年	紙にフォトコピー	41.9×29.7	
VI-20	コピーグラフィィー	1977年	紙にフォトコピー	29.7×21.1	
VI-21	コピーグラフィィー	1977年	紙にフォトコピー	29.7×21.1	
VI-22	コピーグラフィィー	1977年	紙にフォトコピー	29.7×21.1	
VI-23	コピーグラフィィー 星間の石	1977年	紙にフォトコピー	25×26.4	
VI-24	コピーグラフィィー	1977年	紙にフォトコピー	29.7×21.1	
VI-25	コピーグラフィィー 愚者の仮面	1977年	紙にフォトコピー	29.6×38.7	
VI-26a-f	「グループ・アールジュニ」設立趣意書	1982年	紙(複製)	29.7×21.1	
VI-27ab*	ビデオ・パサージュ(天六・大阪市立住まい情報センターのためのパブリック・アート)	1999年	写真(撮影:斉藤さだむ)	パネル展示	
VI-28*	バード・ボード(天六・大阪市立住まい情報センターのためのパブリック・アート)	1999年	写真(撮影:斉藤さだむ)	パネル展示	
VI-30ab*	龍(台北第二美術館のためのコミッション・ワーク)	1999年	写真(撮影:斉藤さだむ)	パネル展示	
VI-32a*	山勝工場(設計:石山修武,淡路・一宮町,現:津名一宮町)	1994年	写真(撮影:斉藤さだむ)	パネル展示	
VI-32b*	山勝工場でのワークショップ	1990年代	写真(撮影:斉藤さだむ)	パネル展示	
■VII 宇宙のテアトリーヌ					
☆	テアトリーノ 顔マンダラ	2003-2005年	スライドプロジェクター,和紙スクリーン,LEDコード,CDミニコンボ,スライド,CD		
VII-1	「宇宙」シリーズ	2003-2005年			
VII-1a	蝸牛の劇場	2004年	油彩,鉛筆,カンヴァスパネル	53×45.5	
VII-1b	蝸牛の劇場	2004年	アクリル,カンヴァスパネル	53×45.5	
VII-1c	蝸牛の劇場	2004年	油彩,パステル,鉛筆,カンヴァスパネル	53×45.5	
VII-1d	カリブ海の海星のオーラ	2004年	油彩,カンヴァス	53×45.5	
VII-1e	カリブの海星のオーラ	2004年	油彩,カンヴァス	53×45.5	
VII-1f	オーロラ姫	2003-2004年	油彩,パステル,鉛筆,カンヴァスパネル	53×45.5	
VII-1g	オーロラ姫	2004年	油彩,パステル,カンヴァス	53×45.5	

No.	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ(縦×横) (高さ×幅×奥行)cm 上映時間	所蔵先 (表記の無いものは作家蔵)
Ⅶ-1h	オーロラ姫	2003年	油彩,パステル,鉛筆,カンヴァスパネル	53×45.5	
Ⅶ-1i	宇宙の花	2004年	油彩,アクリル,パステル,カンヴァスパネル	53×45.5	
Ⅶ-1j	物体Q	2004年	アクリル,クレヨン,カンヴァス	53×45.5	
Ⅶ-1k	物体Q	2004年	アクリル,クレパス,クレヨン,カンヴァスパネル	53×45.5	
Ⅶ-1l	宇宙の自画像	2004年	油彩,パステル,鉛筆,カンヴァスパネル	53×45.5	
Ⅶ-1m	バロックの教会の黄色い光 (枯れ葉)	2004年	油彩,アクリル,パステル,鉛筆,カンヴァスパネル	53×45.5	
Ⅶ-1n	バロックの教会の黄色い光	2004年	アクリル,カンヴァスパネル	53×45.5	
Ⅶ-1o	バロックの教会の黄色い光	2004年	油彩,パステル,カンヴァスパネル	53×45.5	
Ⅶ-1p	月光のパルテノン	2005年	アクリル,カンヴァス	53×45.5	
Ⅶ-1q	スパイラル	2004年	アクリル,カンヴァス	22.7×15.8	
Ⅶ-1r	星月夜のパルテノン (パリ)	2005年	アクリル,カンヴァス	22.8×15.8	
Ⅶ-2	「顔曼荼羅」シリーズ	2003-2005年			
Ⅶ-2a	メガネの自画像	2004年	アクリル,カンヴァス	23×16	
Ⅶ-2b	渦		アクリル,鉛筆,布,カンヴァス	23×16	
Ⅶ-2c	無題		アクリル,カンヴァス	23×16	
Ⅶ-2d	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2e	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2f	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2g	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2h	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2i	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2j	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2k	無題		アクリル,カンヴァス	23×16	
Ⅶ-2l	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2m	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2n	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2o	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2p	無題		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2q	双子座の顔 I		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-2r	秋の顔		アクリル,カンヴァスボード	22.8×15.8	
Ⅶ-3a	スケッチブック(テアトリーヌの構想 ドローイング群)	2003-2005年	水彩,アクリル,ペン,鉛筆,紙	スケッチブック 4冊	
Ⅶ-3b	テアトリーヌの構想ドローイング	2003-2005年	水彩,アクリル,ペン,鉛筆,紙	33.6×15.6	
☆*	小さな生命の誕生	2003年	複製写真(油彩,キャンバス)	額装	
☆	春の河	2005年	アクリル,キャンバス	22.6×15.6	

■参考資料

1. 作品集 (映像)

A1-1	Video Installation & Video Sculpture by Katsuhiko Yamaguchi	1994年	DVD(VHSより変換)	35分20秒	
------	--	-------	--------------	--------	--

2. 装丁

A2-1	山口勝弘『LIBER LIBER』	1975/2001年	鏡,プラスチック	30.2×30.2× 5.5	東京バブリッ シングハウス
A2-2	吉澤早春『片片些事』	1977年	絶版書房		吉澤早春氏
A2-3	吉澤早春『めのとみみのと』	1991年	絶版書房		
A3-1	山口勝弘『不定形美術ろん』	1967年	学芸書林		
A3-2	山口勝弘『環境芸術家キースラー』	1978年	美術出版社		
A3-3	山口勝弘『作品集/山口勝弘/360°』	1981年	六耀社		
A3-4	山口勝弘・清水徹『冷たいパフォーマンス』	1983年	朝日出版社		
A3-5	山口勝弘『ロボット・アヴァンギャルド』	1985年	PARCO出版局		
A3-6	山口勝弘『パフォーマンス原論』	1985年	朝日出版社		
A3-7	山口勝弘『映像空間創造』	1987年	美術出版社		
A3-8	山口勝弘 作品集『UBU 遊不遊』	1992年	絶版書房		
A3-9	山口勝弘『メディア時代の天神祭』	1992年	美術出版社		

栄光のルネサンスから 華麗なロココまで

- 会期 平成18年5月20日(土)～7月17日(月・祝)
- 主催等 主催：茨城県近代美術館
後援：ポーランド共和国大使館
協賛：関彰商事株式会社
企画協力：ホワイトインターナショナル
- ポスター B2 B1
- チラシ A4 (2種：一般用/学校配布用)
- 図録 28.0×22.5cm 124頁
編集：茨城県近代美術館
発行：ホワイトインターナショナル
- 子供向けガイド A4 (両面印刷)
(展示室無料配布) わくわくガイド
・イエス・キリストとマリア様
・ショーゾーガって何!?
- 入場者数 18,004人
- 観覧料 一般1,050(950)円/高大生830(700)円/
小中生470(350)円
※()内は20名以上の団体料金、および入館引換券
(JR東日本びゅうプラザ、みどりの窓口で5月15日
から発売)の料金
- 出品点数 合計70点
- 内容解説
本展覧会は、ポーランドのワルシャワにあるヨハネ・パウロ2世美術館の所蔵品の中から、ルネサンス、バロック、ロココ時代の絵画を紹介した。ポーランド出身の第264代ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世の名を冠したこの美術館は、世界的な科学者カルロ・ポルチェンスキー氏が長年にわ

たって収集してきた美術作品をポーランド政府に寄贈したことにより設立され、東欧の珠玉のコレクションと称されている。

今回は、ヨハネ・パウロ2世美術館のコレクションに加え、個人所蔵のルーベンス作「毛皮のフルマン」、ヴァン・ダイク作「聖母子」など6点を特別出品し、ティツィアーノ、デューラー、ルーベンス、レンブラント、ベラスケス、ゴヤなど巨匠の作品70点により、イタリア、フランドル、オランダ、スペインなどヨーロッパ各国のルネサンスからロココにいたる約300年の絵画の歴史をたどった。

●担当 平野扶佐子 (主任学芸員)

●関連事業

美術講演会

「イタリア美術の楽しみ方」

講師 甲斐教行氏 (茨城大学助教授・西洋美術史)

日時 6月17日(土) 午後1時30分～3時30分

会場 地階講堂

※入場無料

企画展ギャラリートーク

担当 平野扶佐子 (主任学芸員)

日時 5月20日(土)、6月24日(土)

各日午後1時30分～2時30分

場所 企画展示室

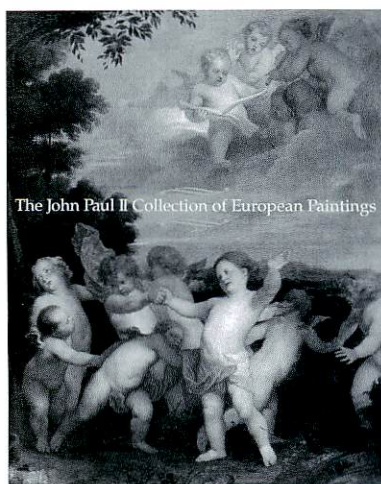
体験ワークショップ

＜クリアグラフで名画の中を散歩＞

講師 綿引明弘氏 (版画家)

日時 6月17日(土)、18日(日)

会場 地階講座室



図録



ポスターB2



チラシA4

てらんかいわくわくツアー

担当 山本哲士（主任学芸員）

日時 6月3日(土) 午前10時～12時

会場 企画展示室、地階講座室

●関連記事

- ・「栄光のルネサンスから華麗なロココまで」
5月16日【産経新聞】
- ・ヨハネ・パウロ2世美術館所蔵品「栄光のルネサンスから華麗なロココまで」3様式の作品70点
5月17日【毎日新聞】
- ・「栄光のルネサンスから華麗なロココまで」
5月19日【読売新聞】
- ・300年の絵画の華楽しんで きょうから「ルネサンスからロココまで」展
5月20日【朝日新聞】
- ・西洋絵画の優品を紹介 5月20日【茨城新聞】
- ・ルーベンスなど70点 県近代美術館で展示
5月21日【東京新聞】
- ・栄光のルネサンスから華麗なロココまで
5月26日【日本経済新聞】
- ・絵画背景にバロック音楽 ミュージアムコンサート観覧希望者を募集 5月29日【茨城新聞】
- ・西洋絵画の流れ一望 7月17日まで ポーランド所蔵の70点 6月5日【茨城新聞】

●関連放送

- ・「ニュース」 5月20日【NHK県域デジタル】
- ・「ニュース」 5月26日【NHK県域デジタル】
- ・「スクーピーレポート」 6月15日【IBS茨城放送】

●出品作品一覧

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	技法, 素材	サイズ(縦×横)cm
1	アルブレヒト・デューラー, 工房	1471-1528	聖アンナと聖母子	1523	油彩, 板	175×64.5
2	ティツィアーノ・ヴェチェリオ	c.1488-1576	メディチ家の子ども	c.1537	油彩, カンヴァス	76.5×52.3
3	ティツィアーノ, 工房	c.1488-1576	ルクレティアの死	1527	油彩, カンヴァス	105.2×64
4	ジョヴァンニ・アントニオ・ソリアーニ	1492-1544	聖家族と聖カタリナ	1535	油彩, カンヴァス	130.8×111.7
5	ヤン・ファン・スコレル	1495-1562	マグダラのマリア	1532/37	油彩, 板	68.5×85.5
6	パリス・ボルドーネ	1500-1571	ダフニスとクロエ	c.1535	油彩, カンヴァス	112×174
7	ルーカス・クラナハ(子)	1515-1586	聖母子		油彩, 板	180×54.6
8	ティントレット(ヤコポ・ロブスティ)	1519-1594	ウリヤの死を知らされるダヴィデ王	1552	油彩, カンヴァス	159×220
9	ティントレット, 工房	1519-1594	コンタリーニの肖像		油彩, カンヴァス	168.3×102.8
10	ヴェロネーゼ(パオロ・カリアーリ), 工房	1528-1588	ダニエルに食事を運ぶ預言者ハバク		油彩, カンヴァス	29×42
11	パルマ・イル・ジョヴァネ(ヤコポ・ネグレッティ)	1544-1628	ウルカヌスの鍛冶場のウエヌス		油彩, カンヴァス	101.5×139.7
12	フランチェスコ・パッサーノ	1549-1592	キリストの埋葬		油彩, カンヴァス	70×74
13	ヨーゼフ・ハインツ(父)	1564-1609	聖カタリナの神秘的結婚		油彩, 板	184×61
14	アニーバレ・カルラッチ	1560-1609	聖母子	1587	油彩, カンヴァス	63×50.6
15	アブラハム・ブルーマールト	1564-1651	羊飼いの降誕の知らせ		油彩, カンヴァス	174×143.5
16	ヤン・ブリュゲル(父) フランス・フランケン(子)	1568-1625/ 1581-1642	果実と花に囲まれたマリアの結婚		油彩, 銅板	35.4×28.1



わくわくガイド



わくわくガイド

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(縦×横)cm
17	カラヴァッジオ (ミケランジェロ・メリージ) の工房	1573-1610	イサクの犠牲		油彩, カンヴァス	115.2×143
18	グイード・レーニ	1575-1642	聖家族ーエジプトへの逃避途上の休息	1637	油彩, カンヴァス	163×134.5
19	ピーテル・パウル・ルーベンス, 工房	1577-1640	授乳の聖母と子		油彩, 板	157.8×48.3
20	ピーテル・パウル・ルーベンス, 工房	1577-1640	毛皮のフルマン		油彩, カンヴァス	176×93
21	ピーテル・パウル・ルーベンス, 工房	1577-1640	自画像		油彩, カンヴァス	48.5×38
22	ピーテル・パウル・ルーベンス, 工房	1577-1640	真ぎの銭		油彩, カンヴァス	111×163.5
23	ピーテル・パウル・ルーベンス, 工房	1577-1640	幸運と美徳の寓意		油彩, カンヴァス	115×165
24	ドメニキーノ(ドメニコ・ザンピエーリ)	1581-1641	聖チェチリア		油彩, カンヴァス	84.4×66
25	フロリス・ファン・スホーテン	1587- c.1665	ハムとアスバラガスのある静物		油彩, カンヴァス	54.5×68
26	ヘンドリック・テルブルッヘン	1588-1629	茨の冠のキリスト		油彩, カンヴァス	135.5×102
27	フランチェスコ・ジェッソ	1588-1649	カリタスー慈愛		油彩, 板	173.6×98.2
28	ホセー・デ・リベラ	1591-1652	哲学者の肖像		油彩, カンヴァス	95×71.5
29	ヤコブ・ヨルダーンス	1593-1678	年老いた男の肖像		油彩, 板	66×51.5
30	伝 ニコラ・プッサン	1594-1665	ノアの燔祭	1636	油彩, カンヴァス	72×98.5
31	コルネリス・ファン・プーレンピュルフ	1594/95-1667	愛の炎		油彩, 板	40×30
32	ピエトロ・ダ・コルトーナ (ピエトロ・ベッレッティエーニ)	1596-1669	ヨセフの夢		油彩, カンヴァス	172.7×119.4
33	アンソニー・ヴァン・ダイク	1599-1641	エジプトへの逃避途上の休息		油彩, カンヴァス	126×155
34	アンソニー・ヴァン・ダイク	1599-1641	聖母子		油彩, カンヴァス	132×100
35	アンソニー・ヴァン・ダイク	1599-1641	貴族の肖像		油彩, カンヴァス	89×75.5
36	アンソニー・ヴァン・ダイク	1599-1641	使徒		油彩, カンヴァス	88×71
37	ディエゴ・ベラスケス	1599-1660	自画像		油彩, カンヴァス	58×40
38	アンドレア・サッキ	1599-1661	マグダラのマリアと天使		油彩, カンヴァス	119×163
39	レンブラント・ファン・レイン	1606-1669	髭のある男の肖像	1643	油彩, 板	21×16
40	レンブラント・ファン・レイン	1606-1669	襷襟を着けた女性の肖像	1644	油彩, 板	61×51.5
41	ヨアヒム・フォン・ザンドラールト(父)	1606-1688	レアンドロスの死		油彩, カンヴァス	140×120
42	セバンスティアン・ブルドン	1616-1671	自画像		油彩, カンヴァス	91×60
43	ピエルフランチェスコ・チッタディーニ	1616-1681	ソマリア公爵夫人の肖像		油彩, カンヴァス	101×133
44	バルトロメ・エステバン・ムリーリョ	1618-1682	自画像		油彩, カンヴァス	76.2×63.5
45	バルトロメ・エステバン・ムリーリョ	1618-1682	聖母子		油彩, カンヴァス	119.5×84.5(楕円形)
46	カルロ・マラッタ/ジュゼッペ・バルトロメオ・キアリ	1625-1713 1654- c.1727	聖母子と聖カタリナと天使たち		油彩, カンヴァス	120×98.5
47	フィリップス・アウフステイン・イメンラート	1627-1679	誘惑されるキリスト	1663	油彩, 銅板	83.5×118
48	ドメニコ・ピオーラ (父)	1627-1703	聖家族	1657	油彩, カンヴァス	99×73
49	ニコラース・マース	1634-1693	ヴェステラのサイク家の肖像	1664	油彩, カンヴァス	95.5×169
50	フランツ・ファン・ミリエス	1635-1681	恋文		油彩, 板	58.4×44.4
51	カスパー・ネッチェル	1639-1684	音楽仲間		油彩, カンヴァス	43.5×35
52	シモン・ペーテルズゾーン・フェレルスト	1644-1721	羊飼いの服装をする若い婦人		油彩, カンヴァス	76×63.5
53	ガスパーロ・ディ・フィオーリ (本名: ガスパーロ・ロペス)	1650-1732	風景の前のバラ, キク, ケシなど		油彩, カンヴァス	73.9×102.4
54	ディルク・ファン・デル・リッセ	c.1610-1669	森で水浴するニンフたち		油彩, 板	39×51
55	ヤコブ・ファン・ロイスダール	c.1625-1682	森の水飲み場の牛		油彩, 板	149×68
56	フランチェスコ・トレヴィサーニ	1656-1746	マグダラのマリア		油彩, カンヴァス	96.5×74.4
57	フランチェスコ・ソリメーナ	1657-1747	羊飼いの礼拝		油彩, カンヴァス	128.2×101
58	サミュエル・マッセ	1672-1753	ロトと娘たち		油彩, カンヴァス	123×156
59	ジャン=フランソワ・ド・トロワ	1679-1752	泉のかたわらのリナルドとアルミーダ		油彩, カンヴァス	72×59
60	ジョヴァンニ・ドメニコ・フェッレッティ	1692-1766	東方三博士の礼拝		油彩, カンヴァス	70×90.5
61	ジャン=マルク・ナティエ	1685-1766	花の神フローラに扮する女性	1753	油彩, カンヴァス	128×96
62	ルイ・トッケ	1696-1772	貴人の肖像		油彩, カンヴァス	133×106.5
63	ピトロ・ロンギ	1702-1785	貴婦人の目覚め		油彩, カンヴァス	70.5×58.4
64	伝 フランチェスコ・ガアルディ	1712-1793	ヴェネツィア風景		油彩, カンヴァス	59.2×97
65	ジャン=バティスト・マリー・ピエール	1714-1789	若い羊飼いの		油彩, カンヴァス	63.5×121
66	アンジェリーカ・カウフマン	1741-1807	聖家族と天使		油彩, カンヴァス	27×23
67	ルイ=ロラン・トランケス	1745- c.1800	花を持つ若い女性	1785	油彩, カンヴァス	73×61.5
68	フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	1746-1828	水を運ぶ女性		油彩, カンヴァスに紙	31×17.5
69	ヨハン・フリードリヒ・アウグスト・ティッシュバイン	1750-1812	ルイザ・フォン・ザクセン=ヴァイマル妃と子供		油彩, カンヴァス	127×98
70	ジョン・ホップナー	1753-1810	若いグリーンナー		油彩, カンヴァス	76.5×64.5

近代日本の水彩画 —その歴史と展開—

- 会期 平成18年7月22日(土)～9月3日(日)
- 主催等 主催：茨城県近代美術館
協賛：関彰商事株式会社
※芸術文化振興基金助成事業
- ポスター B2 B1
- チラシ A4 (2種：一般用/学校配付用)
- 図録 29.0×22.5cm 188頁
編集・発行：茨城県近代美術館
- 子供向けガイド A4 (両面印刷)
(展示室無料配布) わくわくガイド
 - ・画家にインタビュー どんな気持ちで描いたの？
 - ・くらべてみよう4つの風景 透明画法と不透明画法
- 入場者数 13,423人
- 観覧料 一般830(700)円/高大生580(470)円/
小中生350(230)円
※()内は20名以上の団体料金および、入館引換券(JR東日本びゅうプラザ、みどりの窓口で7月18日から発売)の料金
- 出品点数 水彩画156点
主な作家：浅井忠/大下藤次郎/丸山晚霞/
三宅克己/鹿子木孟郎/吉田博/
吉田ふじを/石井柏亭/赤城泰舒
河上左京/岸田劉生/古賀春江/
萬鐵五郎/村山槐多/中西利雄/
不破章/小堀進 等

●内容解説

幕末から明治にかけて日本に移入された水彩画は、その取扱いの簡便さも手伝って急速に普及し、明治30年代から明治末期にかけて、浅井忠をはじめ、水彩画を専門にした三宅克己、丸山晚霞、大下藤次郎らが活躍し、水彩画隆盛の時代を迎えた。

この流れをうけ、大正2年には日本水彩画会が発足し、同会の画家たちが活躍するようになる一方、古賀春江、萬鐵五郎といった大正期の個性派と呼ばれる画家たちも同会に作品を寄せ、岸田劉生、村山槐多らもすぐれた水彩画を残している。大正期の水彩画で目をひくのは彼らのような水彩を専門としない画家たちが水彩画に秀作を残している点で、逆に水彩画界全体としては一部を除いて趣味的境地に陥りがちとなり、不振の傾向を示していった。

昭和に入りこの不振を打破しようと、水彩画の革新を目指した中西利雄は、描法に新たな取り組みを見せて新風を吹き込み、また小堀進は水彩連盟を創立し(昭和15年)、さらなる展開を繰り返し広げていった。

本展は、この明治から昭和に至る水彩画の歴史をふりかえり、その変遷と展開をあらためて検証した。

●担当 山口和子(主任学芸員)

●関連行事

美術講演会

「近代日本の水彩画」

講師 原田光氏

(美術評論家、横須賀市立美術館準備室長)

日時 8月12日(土) 午後1時30分～3時30分

会場 地階講堂

※入場無料

ギャラリートーク

担当 山口和子(主任学芸員)

日時 7月29日(土)、8月19日(土)

各日とも午後1時30分～2時30分



図録



ポスターB2



チラシA4

花火大会前の夜のギャラリートーク
 8月4日(金) 午後6時～7時
 会場 企画展示室

てんらんかいわくわくツアー
 担当 山本哲士(主任学芸員)
 日時 7月22日(土) 午前10時～12時
 会場:企画展示室

●関連記事

- ・「明治～昭和の160点 近代日本の水彩画—その歴史と展開— 来月22日から県近代美術館」6月21日【毎日新聞】
- ・「近代日本の水彩画」県近代美術館で22日～9月3日
 7月20日【常陽新聞】
- ・近代日本の水彩画—その歴史と展開—
 7月21日【日本経済新聞】
- ・きょう開幕 近代日本の水彩画展 7月22日【茨城新聞】
- ・マドモアゼル・フランソワ 8月【Governor's Monthly Letter】
- ・夜のギャラリートーク 8月【月刊みと】
- ・いばらき芸術 【旅NAVI茨城】
- ・近代日本の水彩画「その歴史と展開」
 8月2日【東京新聞】
- ・傑作でたどる発展の足跡 8月4日【読売新聞】
- ・「近代日本の水彩画」展9月3日まで開催
 8月18日【常陽新聞】
- ・「近代日本の水彩画—その歴史と展開— 明治の浅井忠から昭和の小堀進まで48作家156点」(山口和子)
 No.1096 平成18年8月21日号【新美術新聞】
- ・水彩画の変遷 展示でたどる 9月1日【朝日新聞】

●関連放送

- ・近代日本の水彩画「スクーパーレポート」
 7月28日【IBS茨城放送】
- ・近代日本の水彩画 8月8日, 9日【NHK県域デジタル】
- ・「ニュース」 8月11日【NHK県域デジタル】
- ・新日曜美術館 アートシーン 8月20日【NHK教育】

●出品作品一覧

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ(縦×横)cm	初出展	所蔵先
I 明治期の水彩画						
I-1 黎明期						
1	チャールズ・ワグマン	下仁田風景	明治3年(1870)	23.5×32.0		神奈川県立歴史博物館
2	川上冬崖	ナポレオン	幕末頃	60.4×58.2		長野県信濃美術館
3	川上冬崖	草花図		50.0×34.6		長野県信濃美術館
4	石井鼎湖	鴨	明治18年(1885)	54.8×40.5		松本市美術館
5	五姓田義松	家族人物図	明治期	25.0×36.2		神奈川県立歴史博物館
6	五姓田義松	雨の日の家	明治期	12.8×21.4		神奈川県立歴史博物館
7	五姓田義松	山手洋館	明治期	23.3×40.2		神奈川県立歴史博物館
8	二世 五姓田芳柳	風景		18.5×28.3		茨城県近代美術館
9	二世 五姓田芳柳	筑波		18.1×27.1		茨城県近代美術館
10	二世 五姓田芳柳	上野表慶館		18.2×26.6		茨城県近代美術館



わくわくガイド



わくわくガイド

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ(縦×横)cm	初出展	所蔵先
I-2 水彩画の時代						
11	アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	箱根の秋	明治25年頃(c.1892)	27.5×48.0		郡山市立美術館
12	サー・アルフレッド・イースト	荒れ模様	明治22年頃(c.1889)	53.3×36.5		郡山市立美術館
13	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	雪の京都、祇園へゆく道	明治24年(1891)	29.6×36.6		郡山市立美術館
14	五百城文哉	日光陽明門	明治後期	68.0×50.6		水戸市立博物館
15	五百城文哉	日光東照宮拝殿	明治後期	102.0×137.0		水戸市立博物館
16	五百城文哉	晃嶺群芳之図	明治後期	127.6×56.5		水戸市立博物館
17	渡辺豊洲	月光	明治後期	32.4×48.7		星野画廊
18	笠木治郎吉	漁師の一家	明治後期	32.7×50.7		星野画廊
19	笠木治郎吉	老獺師	明治後期	51.6×34.0		星野画廊
20	笠木治郎吉	下校の子供	明治42年頃(c.1909)	51.2×34.3		星野画廊
21	河合新蔵	水辺	明治末期	48.7×59.0		京都国立近代美術館
22	河合新蔵	月夜	明治末期	24.2×32.8		星野画廊
23	河合新蔵	春の日	明治末～大正初期	32.0×49.7		千葉県立美術館
24	河合新蔵	緑蔭	昭和9年(1934)	76.0×54.4	大正記念京都美術展	京都国立近代美術館
25	河合新蔵	放牧	昭和10年(1935)	46.6×57.5	第1回京都市美術展	京都市美術館
26	丸山晚霞	高原の秋草	明治38年頃(c.1905)	33.0×50.5		
27	丸山晚霞	山上の潤地	明治40年頃(c.1907)	101.0×67.0		長野県信濃美術館
28	丸山晚霞	ハヶ岳	明治40年頃(c.1907)	67.0×101.0		長野県信濃美術館
29	丸山晚霞	仏領瑞西シャモニー附近モンテンビール岳	明治44年(1911)	39.0×28.4		丸山 旭氏
30	丸山晚霞	アンバレー村	明治45年(1912)	24.5×34.5		茨城県近代美術館
31	丸山晚霞	溪流(飛騨蒲田の激湍)	大正元年(1912)	63.4×93.4	丸山晚霞瀟湘記念水彩画展覧会(帝國ホテル1912年)	福島県立美術館
32	大下藤次郎	裸婦	明治30年(1897)	42.0×27.5		島根県立石見美術館
33	大下藤次郎	シドニー南端	明治31年(1898)	19.3×32.0		島根県立石見美術館
34	大下藤次郎	紫陽花	明治37年(1904)	21.0×33.0		千葉県立美術館
35	大下藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)	66.7×48.2		島根県立石見美術館
36	大下藤次郎	多摩川畔	明治40年(1907)	48.8×69.7		島根県立石見美術館
37	鹿子木孟郎	クツワムシと女		35.9×51.6		府中市美術館
38	鹿子木孟郎	不忍池	明治26-27年(1893-1894)	28.2×47.5		
39	鹿子木孟郎	ヴェネツィア風景	明治36年頃(c.1903)	29.0×23.0		
40	鹿子木孟郎	ヴェネツィア風景	明治36年頃(c.1903)	35.2×49.9		府中市美術館
41	鹿子木孟郎	赤いリボンの少女	明治40年頃(c.1907)	32.3×20.1		
42	三宅克己	ニューヘブンの雪	明治31年(1898)	36.1×25.5	第4回白馬会展	東京藝術大学
43	三宅克己	小諸城址	明治33年(1900)	24.5×34.5		千葉県立美術館
44	三宅克己	バリエセイヌ川	明治35年頃(c.1902)	30.4×39.4		
45	三宅克己	バッキンガム宮殿の前	大正期	18.9×27.3		茨城県近代美術館
46	三宅克己	羅馬コンスタンチン凱旋門	大正9年(1920)	49.5×66.1	第3回帝展	東京国立近代美術館
47	三宅克己	箱根双子岳	昭和8年(1933)	80.3×100.0	第14回帝展	三重県立美術館
48	吉田博	雲井桜	明治32年頃(c.1899)	49.5×67.5		福岡県立美術館
49	吉田博	新月	明治40年(1907)	59.6×80.5	第1回文展3等賞	東京国立近代美術館
50	吉田博	雲表	明治42年(1909)	67.5×102.0	第3回文展	福岡県立美術館
51	吉田博	越後の春	明治42-43年(1909-1910)	33.5×50.5	第8回太平洋画会展	静岡県立美術館
52	中川八郎	早春		32.6×49.7		郡山市立美術館
53	中川八郎	おぼろ月夜		53.2×65.7		郡山市立美術館
54	吉田ふじを	少女と網を持つ少年	明治35年(1902)	34.4×51.0		府中市美術館
55	吉田ふじを	ヴェニス街の裏	明治39年(1906)	36.7×27.5	第6回太平洋画会展	
56	吉田ふじを	千駄木町の建具屋のおじいさん	明治43年(1910)	49.8×32.7		
57	吉田ふじを	伊太利風景	大正14-昭和3年(1925-28)	46.0×33.7	第24回太平洋画会展	
I-3 浅井忠と京都の画家たち						
58	浅井忠	農家室内	明治20年(1887)	29.0×47.0		茨城県近代美術館
59	浅井忠	グレーの塔	明治34年(1901)	35.5×24.8		千葉県立美術館
60	浅井忠	フォンテンブローの森	明治34年(1901)	35.0×24.3		千葉県立美術館
61	浅井忠	グレーの森	明治34年(1901)	34.8×24.4		泉屋博古館分館
62	浅井忠	河畔洋館	明治35年(1902)	44.7×27.7		泉屋博古館分館
63	浅井忠	京都高等工芸学校の庭	明治36年(1903)	38.5×30.6		千葉県立美術館
64	浅井忠	樹林	明治36年(1903)	27.0×37.5		茨城県近代美術館
65	浅井忠	雲	明治36-40年(1903-1907)	28.5×44.3		静岡県立美術館
66	都鳥英喜	真如堂裏	明治39年(1906)	36.5×26.5		京都国立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ(縦×横)cm	初出展	所蔵先
67	都鳥英喜	鴨川	明治40年(1907)	28.8×38.3		京都国立近代美術館
68	加藤源之助	風景	明治37年(1904)	27.2×38.3		京都国立近代美術館
69	加藤源之助	秋の山(大和初瀬村)	明治41年(1908)	47.5×31.1	第10回関西美術会展(1911年)	千葉県立美術館
70	長谷川良雄	梨木通界限	明治40年(1907)	40.0×29.0	第6回関西美術会展	京都国立近代美術館
71	長谷川良雄	晩秋	明治42年(1909)	28.0×39.3		千葉県立美術館
72	田中善之助	萩と茶屋	明治40年頃(c.1907)	28.2×36.9		京都国立近代美術館
73	田中善之助	物干台のある風景	明治40-41年頃(c.1907-08)	32.2×40.8		星野画廊

Ⅱ 大正期の様相

Ⅱ-1 日本水彩画会の画家たち

74	石川欽一郎	銚子港(利根川付近)	昭和14年頃(c.1939)	38.0×45.0		静岡県立美術館
75	石川欽一郎	神城より天の香具山を望む	昭和15年頃(c.1940)	48.0×58.0		静岡県立美術館
76	石川欽一郎	白馬の麓	昭和15年頃(c.1940)	38.0×45.8		星野画廊
77	真野紀太郎	ウェリントン植物園	大正13年(1924)	21.5×32.8		郡山市立美術館
78	真野紀太郎	薔薇	昭和16年(1941)	57.2×77.7		星野画廊
79	白瀧幾之助	パリ・サンゼリゼー	大正12年(1923)	25.0×34.8		山梨県立美術館
80	白瀧幾之助	マルセイユ夜景	大正12年(1923)	24.0×32.6		山梨県立美術館
81	中沢弘光	温泉場の裏	大正3年(1914)	76.0×56.2	東京大正博覧会	星野画廊
82	石井柏亭	病児	明治37年(1904)	34.0×25.5	第4回太平洋画会展(1905年)	千葉県立美術館
83	石井柏亭	風呂のこわれ(トルコ風呂)	明治44年(1911)	27.3×35.0		茨城県近代美術館
84	石井柏亭	オランダ(フォレンジム)の老婆	明治45年(1912)	36.0×26.0		茨城県近代美術館
85	石井柏亭	晩春行楽図	昭和13年(1938)	65.5×91.0	第25回日本水彩画会展	千葉県立美術館
86	南薫造	ロンドンの裏庭	明治40年(1907)	37.6×27.2		広島県立美術館
87	南薫造	うしろむき	明治42年(1909)	53.0×36.7	南薫造・有島壬生馬淵歐記念絵画展覧会(白樺社主催)	広島県立美術館
88	南薫造	テーマズ夜景	明治42年(1909)	35.5×51.0		広島県立美術館
89	小山周次	セエヌの浴場船	大正13年(1924)	26.8×38.0		長野県信濃美術館
90	小山周次	沖縄の風景	昭和5年(1930)	38.0×54.7		山梨県立美術館
91	小山周次	湯ノ湖	昭和16年(1941)	37.0×53.0		山梨県立美術館
92	石井鶴三	縊死者	大正4年(1915)	37.0×26.5	第2回二科展	東京藝術大学
93	石井鶴三	行路病者	大正5年(1916)	26.8×36.5	第3回二科展(二科賞)	東京藝術大学
94	赤城泰舒	読書	明治43年(1910)	64.0×48.0	第4回文展	信州新町美術館
95	赤城泰舒	洞	大正2年(1913)	48.3×31.8	第1回日本水彩画会展	信州新町美術館
96	赤城泰舒	ギターを弾く少年	昭和3年(1928)	64.7×49.5	第15回二科展	静岡県立美術館
97	赤城泰舒	雲(折原)	昭和20年(1945)	38.2×56.7		静岡県立美術館
98	河上左京	静物(オランダ海芋)	大正8年(1919)	67.2×67.6	第6回二科展	岩国徴古館
99	河上左京	静物(リンゴ)	大正9年(1920)	56.0×54.2	第8回光風会展今村奨励賞	岩国徴古館
100	河上左京	静物(香炉と椿)	大正11年(1922)	58.6×55.2		岩国徴古館
101	河上左京	静物(白い瓶)	大正15年(1926)	39.9×57.3	第14回日本水彩画会展(昭和2年)	岩国市
102	水野以文	林の朝	明治44年(1911)	51.0×69.5		浜松市美術館
103	水野以文	水辺	大正5年(1916)	51.2×69.0		浜松市美術館
104	水野以文	海岸風景	昭和15-20年頃(c.1940-45)	51.0×68.7		浜松市美術館
105	水野以文	夏池 I	昭和31年(1956)	60.0×102.5	第12回日展	浜松市美術館
106	後藤工志	ダリア	大正2年(1913)	41.4×32.0	東京大正博覧会	千葉県立美術館
107	後藤工志	相州真鶴附近風景	大正7年(1918)	39.4×56.8		東京国立近代美術館

Ⅱ-2 大正期の個性派

108	萬鐵五郎	雨の風景	明治37年(1904)	34.1×25.6		岩手県立美術館
109	萬鐵五郎	女の顔	大正元年頃(c.1912)	34.5×25.7		岩手県立美術館
110	萬鐵五郎	風景(坂道)	大正2年頃(c.1913)	32.0×23.4		岩手県立美術館
111	萬鐵五郎	高麗山(こまやま)の見える砂丘	大正12年頃(c.1923)	24.2×32.5		岩手県立美術館
112	萬鐵五郎	暖日	大正12年頃(c.1923)	24.2×32.5		岩手県立美術館
113	岸田劉生	村娘之図	大正8年(1919)	45.0×33.4	第7回草土社展	下関市立美術館
114	岸田劉生	信行像	大正10年(1921)	30.8×22.3		下関市立美術館
115	岸田劉生	麗子洋装之図(青果持テル)	大正10年(1921)	50.6×34.6	岸田劉生個人展覧会(神田流逸荘)	豊田市美術館
116	岸田劉生	麗子微笑之立像	大正10年(1921)	50.5×34.2	岸田劉生個人展覧会(神田流逸荘)	メナード美術館

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ(縦×横)cm	初出展	所蔵先
117	古賀春江	婦人	大正中期	58.0×47.5		茨城県近代美術館
118	古賀春江	婦人	大正中期	47.5×58.0		茨城県近代美術館
119	古賀春江	竹藪	大正9年(1920)	45.5×60.5		福岡県立美術館
120	古賀春江	埋葬	大正11年(1922)	37.4×49.8	第6回来目会展	福岡県立美術館
121	古賀春江	風景		38.0×50.5		千葉県立美術館
122	古賀春江	赤い風景	大正15年(1926)	38.8×56.5	第13回日本水彩画会展	福島県立美術館
123	村山槐多	小杉未醒氏庭園にて	大正3年(1914)	25.6×35.3		信濃デッサン館
124	村山槐多	田端の崖	大正3年(1914)	35.0×25.6	第1回二科展	信濃デッサン館
125	村山槐多	二人の少年(二少年図)	大正3年(1914)	80.5×60.5		江戸川乱歩旧蔵 (世田谷文学館寄託作品)
126	村山槐多	川のある風景	大正3年(1914)	24.3×28.7		府中市美術館
127	村山槐多	朱の風景	大正3年(1914)	18.9×29.4		信濃デッサン館

Ⅲ 昭和の展開

Ⅲ-1 中西利雄と蒼原会

128	小山良修	曲	昭和12年(1937)	78.5×100.2	第24回日本水彩画会展	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
129	小山良修	布上	昭和18年(1943)	70.7×106.0	第30回日本水彩画会展	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
130	中西利雄	トリエール・シュル・セヌ	昭和5年(1930)	54.5×69.5	第19回日本水彩画会展 (1932年)	千葉県立美術館
131	中西利雄	トリエール風景	昭和5年(1930)	56.5×75.0	第13回帝展	茨城県近代美術館
132	中西利雄	シルク・ディヴェール	昭和6年(1931)	54.3×65.0	第8回上杜会展 (1935年)	
133	中西利雄	森のカフェ	昭和6年(1931)	55.5×75.5	第19回日本水彩画会展 (1932年)	
134	中西利雄	人物	昭和11年(1936)	117.0×91.0	第1回新制作派協会展	千葉県立美術館
135	中西利雄	彫刻と女	昭和14年(1939)	91.0×117	第4回新制作派協会展	茨城県近代美術館
136	中西利雄	少女像(B)	昭和17年(1942)	75.0×56.0	第7回新制作派協会展	
137	不破章	二女	昭和28年(1953)	101.5×134.0	第9回日展、 特選・朝倉賞	千葉県立美術館
138	不破章	三人姉妹	昭和31年(1956)	101.5×136.0	第12回日展岡田賞	千葉県立美術館
139	富田通雄	晴れたる日(大森)	大正12年(1923)	24.5×33.0	第20回太平洋画会展 (1924年)	湯河原ゆかりの美術館
140	富田通雄	吉浜海岸の夏	昭和7年(1932)	30.5×38.5	蒼原会10周年(第7 回)展	湯河原ゆかりの美術館
141	富田通雄	丸ノ内展望	昭和23年(1948)	48.5×60	第10回一水会展	湯河原ゆかりの美術館
142	富田通雄	バレリーナによる構図	昭和32年(1957)	87×121	第13回日展	湯河原ゆかりの美術館

Ⅲ-2 小堀進と水彩連盟

143	荒谷直之介	三人の像	昭和26年(1951)	97.0×67.0	第10回水彩連盟展	茨城県近代美術館
144	荒谷直之介	大下春子刀自像	昭和31年(1956)	72.0×53.0	第15回水彩連盟展	茨城県近代美術館
145	春日部たすく	立教大正門前	昭和4年頃(c.1929)	40.0×53.0		茨城県近代美術館
146	春日部たすく	秋	昭和22年(1947)	65.0×91.0	第8回水彩連盟展 (1949年)	茨城県近代美術館
147	春日部たすく	雪中の饗宴	昭和29年(1954)	55.0×73.0		茨城県近代美術館
148	小堀進	海	昭和12年(1937)	54.5×69.5	第24回二科展	茨城県近代美術館
149	小堀進	冠水の跡	昭和16年(1941)	69.5×95.3	第2回水彩連盟展	茨城県近代美術館
150	小堀進	驟雨	昭和22年(1947)	58.0×88.0	第3回日展	茨城県近代美術館
151	小堀進	水辺	昭和23年(1948)	68.0×94.5	第7回水彩連盟展	茨城県近代美術館
152	小堀進	大正池	昭和27年(1952)	66.7×100.2	第8回日展	茨城県近代美術館
153	小堀進	朝陽(霞ヶ浦)	昭和30年(1955)	54.8×74.5	第14回水彩連盟展	茨城県近代美術館
154	小堀進	花と雲	昭和31年(1956)	83.0×118.0	第12回日展	茨城県近代美術館(寄託)
155	渡部菊二	夏の女	昭和13年(1938)	88.2×52.5	第16回白日会展	福島県立美術館
156	渡部菊二	勤労の娘達	昭和15年(1940)	114.0×88.5	第27回日本水彩画会展	福島県立美術館

家族の情景展 —日本の家族を考える—

- 会期 平成18年9月16日(土)～11月5日(日)
- 主催等 主催：茨城県近代美術館
協賛：常陽銀行／関彰商事株式会社
- ポスター B2 B1
- チラシ A4 (2種：一般用／学校配布用)
- 図録 28.5×22.5cm 145頁
編集・発行：茨城県近代美術館
- 子供向けガイド A4 (両面印刷)
(展示室無料配布) わくわくガイド
・比べてみよう!!二つの作品
・この子、どんな子?
- 入場者数 11,376人
- 観覧料 一般830(700)円／高大生580(470)円／
小中生350(230)円
※()内は20名以上の団体料金、および入館引換券
(J R東日本びゅうプラザ、みどりの窓口で9月4日
から発売)の料金
- 出品点数 合計103点
- 内容解説
家族や子供をテーマとした展覧会は近年各地で開催されているが、本展では平和な団らん風景の光景や子供に対するストレートな愛情表現を紹介するとどまらず、時代と共に変化する家族像も含めて、近代から現代に至る日本の芸術家が表現してきた家族像を概観した。そこには岸田劉生の麗子像のように愛娘をみつめつつ芸術表現を模索する画家のまなざしや、親の老いや家族間の孤独など家族に対するわだかまり、戦争や死別に直面するなどといった厳し

い問題を経験したが故に、家族との関係を問う作品もあった。家族を見続けた多くの作家の眼を通して、鑑賞者が自分の経験と照らし合わせながら自分にとっての「家族」を見直す機会にもなった。

- 担当 今瀬佐和 (副主任学芸員)

●関連事業 文化講演会 「家族の風景」

講師 斎藤環氏 (精神科医)
日時 10月29日(日) 午後1時30分～3時30分
会場 地階講堂
※入場無料

美術講演会

「家族は、物語の宝庫—描かれた家族像を読む。」
講師 小泉淳一 (天心記念五浦美術館首席学芸員)
日時 9月18日(月・祝) 午後1時30分～午後3時30分
会場 地階講堂
※入場無料

企画展ギャラリートーク

担当 今瀬佐和 (副主任学芸員)
日時 9月23日(土)、10月21日(土)
各日も午後1時30分～午後2時30分
会場 企画展示室

家族でいっしょに・赤ちゃんもいっしょにギャラリートーク

担当 今瀬佐和 (副主任学芸員)
日時 10月11日(水) 午前10時30分～
会場 企画展示室



図録



ポスター B 2



チラシ A 4

生涯学習フェスティバルスペシャル企画
「ギャラリートーク・トーク・トーク」
美術館で過ごす欲張りな60分

担当 今瀬佐和（副主任学芸員）
青木麻理子（副主任学芸員）
日時 10月7日（土）～9日（月・祝）
午後1時30分～2時30分
会場 企画展示室、常設展示室

・「ニュース」 9月22日【NHK地域デジタル】
・「わいわいスタジオ」 9月28日【NHK地域デジタル】

てらんかいわくわくツアー

担当 山本哲士（主任学芸員）
日時 9月30日（土） 午前10時～12時
会場 企画展示室

●関連記事

- ・家族テーマに企画展 きょう県近代美術館で開幕 9月16日【茨城新聞】
- ・描かれた家族像 解説 学芸員小泉淳一さん講演 9月17日【常陽新聞】
- ・日本の家族を考える 家族の情景展 9月【茨城美術新聞】
- ・家族の情景展—日本の家族を考える 9月15日【日本経済新聞】
- ・家族の情景展—日本の家族を考える 9月20日【産経新聞】
- ・家族のあり方描く彫る写す 県近代美術館で企画展 10月2日【茨城新聞】
- ・家族の変遷追う「家族の情景展」 10月2日【朝日新聞】
- ・家族の情景展「日本の家族を考える」 10月12日【東京新聞】

●関連放送

- ・「スクーパーレポート」 9月15日【IBS茨城放送】
- ・「ミュージアムガイド」 9月16日【IBS茨城放送】
- ・「関東いっと6けん」 9月21日【NHK総合テレビ】

●出品作品一覧

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	サイズ(縦×横)cm	出品歴	所蔵先
1	梶原緋佐子	姉妹	大正5年頃(c.1916)	絹本・彩色・額装	112×65		京都市美術館
2	梶原緋佐子	帰郷	大正7年頃(c.1918)	絹本・彩色・額装	205×84.5		京都市美術館
3	酒井三良	雪に埋もれつつ正月は行く	大正8年(1919)	絹本・彩色・屏風二曲一隻	171×173	第2回国画創作協会展	福島県立美術館
4	丸岡比呂史	母と子	大正9年(1920)	絹本・彩色・額装	101×101.5	第3回国画創作協会展	京都国立近代美術館
5	湯浅一郎	母と子	大正10年(1921)	油彩・麻布・額装	80×65.5		群馬県立近代美術館
6	清水登之	親子像	大正12年(1923)	油彩・麻布・額装	76.2×61.1		東京都現代美術館
7	岸田劉生	童女図(麗子立像)	大正12年(1923)	油彩・麻布・額装	53.2×45.5		神奈川県立近代美術館
8	森紅凝	母子像	大正12年(1923)	絹本・彩色・額装	167×90.3		京都国立近代美術館
9	石井柏亭	麻雀	大正15年(1926)	油彩・麻布・額装	72.7×90.9	第13回二科展	茨城県近代美術館
10	川口軌外	母と子	昭和2・5年(1927・30)	油彩・麻布・額装	52.5×45.2		茨城県近代美術館
11	小川千甕	田人	昭和3年(1928)	紙本・彩色・屏風二曲一隻	125.5×150	第15回院展	京都国立近代美術館
12	前田寛治	棟梁の家族	昭和3年(1928)	油彩・麻布・額装	131×162.5	第4回一九三〇年協会展	鳥取県立博物館
13	中野和高	少憩	昭和6年(1931)	油彩・麻布・額装	177×266		宮城県美術館
14	三宅風白	秋林小景	昭和9年(1934)	紙本・彩色・額装	168×124	大礼記念京都美術館展	京都市美術館



わくわくガイド



わくわくガイド

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	サイズ(縦×横)cm	出品歴	所蔵先
15	小川芋銭	小六月	昭和12年(1937)	紙本・彩色・軸装	55.8×59.5		茨城県近代美術館
16	斎藤長三	たそがれ	昭和14年(1939)	油彩・麻布・額装	258.4×194.7		宮城県美術館
17	広田多津	母子	昭和20年(1945)	紙本・彩色・額装	167×76	第1回京展	京都市美術館
18	大沢昌助	公園	昭和23年(1948)	油彩・麻布・額装	97×130		練馬区立美術館
19	大沢昌助	姉と弟〔雲のある日の人物〕	昭和25年(1950)	油彩・麻布・額装	100×80.6	第4回美術団体連合展	練馬区立美術館
20	桂ゆき	ひまわりの咲く午後	昭和23年(1948)	油彩・麻布・額装	72.5×91.5	第33回二科展	茨城県近代美術館
21	堂本印象	或る家族	昭和24年(1949)	紙本・彩色・額装	120×164	第5回日展	京都府立堂本印象美術館
22	中谷泰	母と子	昭和26年(1951)	油彩・麻布・額装	90.9×60.6	第5回美術団体連合展	世田谷美術館
23	永瀬義郎	団欒	昭和30年(1955)	ステンシル・モノタイプ・紙(3枚組)・額装	各71.4×51.6	第11回日展	茨城県近代美術館
24	中村宏	四世同堂	昭和32年(1957)	油彩・麻布・額装	97.3×162.2		宮城県美術館
25	小倉遊亀	家族達	昭和34年(1959)	紙本・彩色・額装	125.8×190.2	再興第44回院展	滋賀県立近代美術館
26	小倉遊亀	兄妹	昭和39年(1964)	紙本・彩色・額装	151×151	再興第49回院展	滋賀県立近代美術館
27	木村伊兵衛	秋田市泉	昭和27年(1952)	ゼラチンシルバープリント・額装	37.4×24.9		東京都写真美術館
28	木村伊兵衛	横手	昭和27年(1952)	ゼラチンシルバープリント・額装	37.4×25.0		東京都写真美術館
29	木村伊兵衛	六郷町	昭和28年(1953)	ゼラチンシルバープリント・額装	25.0×37.4		東京都写真美術館
30	木村伊兵衛	上野公園	昭和31年(1956)	ゼラチンシルバープリント・額装	25.1×37.5		東京都写真美術館
31	木村伊兵衛	大曲市内小友	昭和33年(1958)	ゼラチンシルバープリント・額装	37.4×25.1		東京都写真美術館
32	木村伊兵衛	大曲市内小友	昭和34年(1959)	ゼラチンシルバープリント・額装	25×37.4		東京都写真美術館
33	植田正治	パパとママとコドモたち/シリーズ「綴り方・私の家族」より	昭和24年(1949)	ゼラチンシルバープリント・額装	25.3×24.5		東京都写真美術館
34	植田正治	パパとママとコドモたち(I)/シリーズ「綴り方・私の家族」より	昭和24年(1949)	ゼラチンシルバープリント・額装	25.3×25.0		東京都写真美術館
35	植田正治	ボクのわたしのお母さん	昭和25年(1950)	ゼラチンシルバープリント・額装	23.7×26.6		東京都写真美術館
36	秋山亮二	記念植樹をした新婚カップル・開聞岳	昭和45-46年(1970-71)	ゼラチンシルバープリント・額装	30.6×46		東京都写真美術館
37	阿部合成	見送る人々	昭和13年(1938)	油彩・板・額装	137.4×165.6	第25回二科展	兵庫県立美術館
38	松本竣介	画家の像	昭和16年(1941)	油彩・板・額装	162.4×112.7	第28回二科展	宮城県美術館
39	北川民次	家族写真	昭和18年(1943)	油彩・麻布・額装	62.5×80.3		宮城県美術館
40	北川民次	焼け跡	昭和20年(1945)	油彩・麻布・額装	65.5×80.6		名古屋市美術館
41	宮本三郎	死の家族	昭和20-21年頃(1945-46c)	油彩・麻布・額装	98×145.8		世田谷美術館
42	大森運夫	昭和二十年八月	昭和62年(1987)	紙本・彩色・額装	194×259	第14回創画展	広島市現代美術館
43	北川民次	赤津陶工の家	昭和16年(1941)	テンペラ・麻布・額装	128.5×163.8		名古屋市美術館
44	北川民次	家族と画家夫妻	昭和20年(1945)	油彩・麻布・額装	65.4×80.3		
45	北川民次	母子家族像	昭和38年(1963)	油彩・麻布・額装	91×117	第48回二科展	
46	北川民次	哺育	昭和39年(1964)	油彩・麻布・額装	130.3×162	第6回現代日本美術展	名古屋市美術館
47	北川民次	画家の家族	昭和44年(1969)	油彩・麻布・額装	130.3×162	第54回二科展	東京国立近代美術館
48	北川民次	夏の宿題	昭和45年(1970)	油彩・麻布・額装	130.3×162	第55回二科展	
49	山口薫	母子	昭和26年(1951)	油彩・麻布・額装	80×65		東京国立近代美術館
50	山口薫	白痴の愛(あやこ)	昭和30年(1955)	油彩・麻布・額装	91×72.6		群馬県立近代美術館
51	山口薫	千手「黒夫人」像	昭和32年(1957)	油彩・麻布・額装	118×91	第4回日本国際美術展、第9回選抜秀作美術展	神奈川県立近代美術館
52	山口薫	あや子あやとり	昭和34年(1959)	油彩・麻布・額装	45.5×37.8		渋谷区立松濤美術館(寄託)
53	山口薫	娘の肖像 おぼへがき	昭和34年(1959)	油彩・麻布・額装	99.8×80.6	第30回ベネツィア・ビエンナーレ展	世田谷美術館
54	森芳雄	画家と家族	昭和29-31年(1954-56)	油彩・麻布・額装	162.1×130.3	第20回自由美術家協会展	東京都現代美術館
55	森芳雄	家族	昭和31年(1956)	油彩・麻布・額装	60.6×72.7		
56	森芳雄	人ー母と子	昭和36年(1961)	油彩・麻布・額装	162.1×130.3		東京国立近代美術館
57	森芳雄	ある知らせ	昭和46年(1971)	油彩・麻布・額装	96.5×130	第19回平和美術展	群馬県立近代美術館
58	森芳雄	母子	昭和57-59年(1982-84)	油彩・麻布・額装	80.3×65.2		
59	森芳雄	夏	平成3年(1991)	油彩・麻布・額装	145.5×112.1	第27回主体展	
60	香月泰男	風	昭和23年(1948)	油彩・麻布・額装	72.9×116.1	第22回国画展	東京藝術大学大学美術館
61	香月泰男	定規と少年	昭和25年(1950)	油彩・麻布・額装	60.6×40.9		
62	香月泰男	母と子	昭和43年(1968)	油彩・麻布・額装	27×21		
63	香月泰男	母子	昭和43年(1968)	油彩・麻布・額装	24×19		
64	香月泰男	父と子	昭和44年(1969)	油彩・麻布・額装	19.8×14.8		
65	麻生三郎	うつぶせ	昭和18年(1943)	油彩・麻布・額装	72.7×91		
66	麻生三郎	母子	昭和23年(1948)	油彩・麻布・額装	91×60.5		東京都現代美術館
67	麻生三郎	母子	昭和30年(1955)	油彩・麻布・額装	100×80.5		
68	麻生三郎	家族	昭和34年(1959)	油彩・麻布・額装	117×91.3	第23回自由美術展	福島県立美術館

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	サイズ (縦×横×高さ)cm	出品歴	所蔵先
69	麻生三郎	家族	昭和34年(1959)	油彩・麻布・額装	130.3×162		徳島県立近代美術館
70	麻生三郎	少女像	昭和35年(1960)	油彩・麻布・額装	130.3×162		茨城県近代美術館
71	浜田知明	家族(大)	昭和49年(1974)	エッチング・アクアチント・紙・額装	28.9×22.9		いわき市立美術館
72	浜田知明	家族「曇後晴」	昭和52年(1977)	エッチング・アクアチント・紙・額装	19.3×16		東京都現代美術館
73	浜田知明	風化する街(A)	昭和52年(1977)	エッチング・アクアチント・紙・額装	31.8×23.9		東京都現代美術館
74	浜田知明	風化する街(B)	昭和53年(1978)	エッチング・アクアチント・紙・額装	23×30.1		東京都現代美術館
75	鈴木芳子	ある一族の肖像	昭和51年(1976)	紙本・彩色・額装	196.5×291	第3回創画展	いわき市立美術館
76	鈴木実	家族の肖像	昭和56年(1981)	ラワン	180×60×130(男)/ 180×57.7×42(妻)/ 192×58×42.5(母)/ 189×53×40(ヒラ-弟の娘)/ 197×53×39(娘)		相生森林美術館
77	高松次郎	影(母子)	昭和39年(1964)	油彩・板	114×92		滋賀県立近代美術館
78	高松次郎	影A	昭和39年(1964)	油彩・合板	211×168×12		いわき市立美術館
79	高松次郎	ピーナスを見る女の影	昭和40年(1965)	油彩・石膏・合板	161.5×92×18		宮城県美術館
80	高松次郎	扉の影	昭和43年(1968)	ラッカー・木	180×380×10		東京都現代美術館
81	高松次郎	影	昭和53年(1978)	アクリル・麻布・額	97×130		練馬区立美術館
82	高松次郎	影の母子像	昭和62-63年(1987-88)	アクリル・麻布	204.7×290.6		広島市現代美術館
83	野田哲也	日記 1968年8月22日	昭和43年(1968)	シルクスクリーン・木版・和紙・額装	82×82	第6回東京国際版画ビエンナーレ展	
84	野田哲也	日記 1968年9月11日	昭和43年(1968)	シルクスクリーン・木版・和紙・額装	82.0×82.0	第6回東京国際版画ビエンナーレ展	
85	野田哲也	日記 1973年10月25日	昭和48年(1973)	シルクスクリーン・木版・和紙・額装	50.6×71.3		いわき市立美術館
86	野田哲也	日記 1976年2月15日	昭和51年(1976)	シルクスクリーン・木版・和紙・額装	46.5×70	第12回リュブリアナ国際版画ビエンナーレ展	いわき市立美術館
87	野田哲也	日記 1976年8月19日	昭和51年(1976)	シルクスクリーン・木版・和紙・額装	70.5×47	第12回リュブリアナ国際版画ビエンナーレ展	いわき市立美術館
88	野田哲也	日記 1977年3月3日(b)	昭和52年(1977)	シルクスクリーン・木版・和紙・額装	44.8×64.2	第4回ノルウェー国際版画ビエンナーレ展	東京都現代美術館
89	野田哲也	日記 1977年8月8日	昭和52年(1977)	シルクスクリーン・木版・和紙・額装	45×64.5		いわき市立美術館
90	野田哲也	日記 1978年3月3日	昭和53年(1978)	シルクスクリーン・木版・和紙・額装	79×42.1		いわき市立美術館
91	野田哲也	日記 1980年2月2日	昭和55年(1980)	シルクスクリーン・木版・和紙・額装	79×42.5		いわき市立美術館
92	野田哲也	日記1987年5月30日, 柏市, 亀甲台, 2-12-4	昭和62年(1987)	木版・シルクスクリーン・和紙・額装	59.5×119		徳島県立近代美術館
93	石内都	mother's #3	平成12年(2000)	ゼラチンシルバープリント	28.5×19		作家蔵
94	石内都	mother's 25Mar 1916 #53	平成12年(2000)	ゼラチンシルバープリント, 額装	107.5×73.5		作家蔵
95	石内都	mother's #19	平成13年(2001)	ゼラチンシルバープリント	28.5×19		作家蔵
96	石内都	mother's #24	平成13年(2001)	ゼラチンシルバープリント	107.5×73.5		作家蔵
97	石内都	mother's #38	平成14年(2002)	タイプCプリント	107.5×73.5		作家蔵
98	石内都	mother's #48	平成14年(2002)	ゼラチンシルバープリント	19×28.5		作家蔵
99	石内都	mother's #49	平成14年(2002)	ゼラチンシルバープリント	107.5×73.5		作家蔵
100	石内都	mother's #55	平成15年(2003)	タイプCプリント	19×28.5		作家蔵
101	奈良美智	Yr. Childhood	平成7年(1995)	アクリル・綿布・額装	120×110		
102	奈良美智	UNTITLED(BROKEN TREASURE)	平成7年(1995)	アクリル・綿布	150×150		徳島県立近代美術館
103	奈良美智	Hothouse Doll	平成7年(1995)	アクリル・綿布・額装	120×110		

村山密展 —パリを描いて半世紀—

- 会期 平成18年12月2日(土)～平成19年1月14日(日)
- 主催等 主催：茨城県近代美術館／朝日新聞社／NHKプロモーション
共催：NHK水戸放送局
協力：日本航空
協賛：関彰商事株式会社
- ポスター B2 B1
- チラシ A4 (2種：一般用／学校配布用)
- 図録 29.0×22.4cm 132頁
編集：茨城県近代美術館／NHKプロモーション
発行：NHKプロモーション
- 子供向けガイド A4 (両面印刷)
(展示室無料配布) わくわくガイド
 - ・フランスからボンジュール！村山密の描いたパリの風景
 - ・色彩を変える町並…描かれた季節を当ててみよう！
- 入場者数 10,259人
- 観覧料 一般830(700)円／高大生580(470)円／小中生350(230)円
※()内は20名以上の団体料金、および入館引換券(JR東日本びゅうプラザ、みどりの窓口で11月6日から発売)の料金
- 出品点数 合計102点

●内容解説

1918(大正7)年、茨城県潮来市に生まれた洋画家村山密の画業を回顧する展覧会。半世紀にわたりパリに住み続けている村山は、サロン・ドートンヌを活躍の場として制作を続け、その業績が認められて1997年、フランス政府よりレジョン・ド・ヌール勲章(シュヴァリエ章)を受章した。生涯にわたり描いているのは水辺の情景である。水郷の地に生まれ育ったことから水辺の風景を愛し、セーヌ河畔のアトリエから、季節や時間によってうつろう情景を描いているのである。また、パリのノートルダム寺院をはじめ、フランス各地の聖堂を描き、聖堂は画家の主要なテーマの一つとなっている。その詩情豊かな作風が愛され、支持されてきた。本展では、これまで紹介される機会の少なかった初期の静物画から、聖堂やセーヌ河畔などを描いた代表作をはじめ、未発表の近作を含めて102点の作品により村山芸術の足跡を振り返った。油彩画およびパステルが中心となったが、色ガラスを重ねたジェマイユ作品も反響を呼んだ。

●担当 吉田衣里(学芸員)

●関連事業

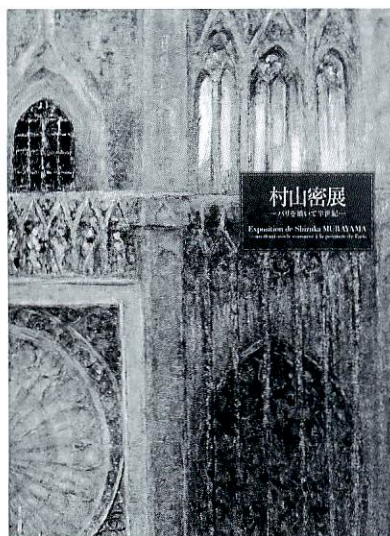
企画展ギャラリートーク

担当 吉田衣里(学芸員)

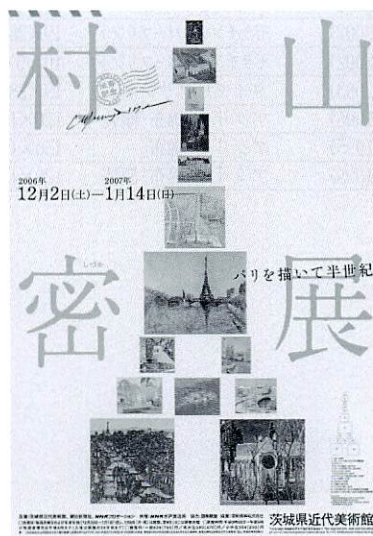
日時 12月3日(日)、12月23日(土・祝)

各日とも午後1時30分～2時30分

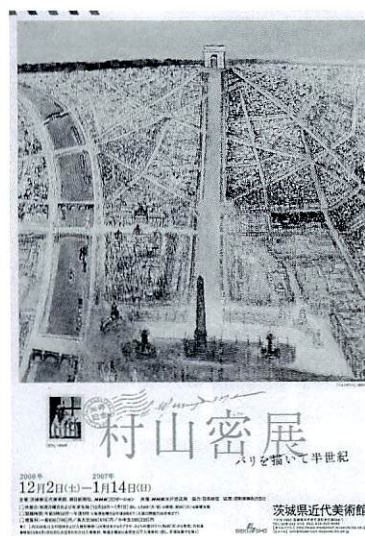
会場 企画展示室



図録



ポスターB2



チラシA4

実技講座

＜初めてのパステルスケッチー冬の千波湖畔を描こう＞
 講師 坂井尊美（首席学芸主事）
 日時 12月27日（水）
 会場 地階講座室、企画展示室、野外

てらんかいわくわくツアー

担当 山本哲士（主任学芸員）
 日時 12月2日（土）午前10時～12時
 会場 企画展示室

●関連記事

- ・「村山密展」12月2日から水戸で 11月28日【朝日新聞】
- ・「村山密展」きょうから 水戸・県近代美術館 12月2日【朝日新聞】
- ・米寿記念 油彩102点 村山密展きょう開幕 12月2日【茨城新聞】
- ・パリを描いて半世紀 潮来市出身村山密さん 米寿記念し展覧会 12月3日【東京新聞】

- ・米寿記念「村山密展ーパリを描いて半世紀」 12月6日【産経新聞】
- ・米寿記念 村山密展 パリを描いて半世紀 12月8日【日本経済新聞】
- ・村山密展 パリを描いて半世紀から 上 落ち着いた初期の作風 12月19日【朝日新聞】
- ・中 人々の信仰心にも共鳴 12月20日【朝日新聞】
- ・下 街の一コマ ゆったりと 12月21日【朝日新聞】
- ・仏の風景をテーマ 米寿記念 村山密展ーパリを描いて半世紀ー 12月20日【毎日新聞】
- ・村山密展～パリを描いて半世紀 12月22日【読売新聞】
- ・村山密展「パリを描いて半世紀」 12月31日【東京新聞】
- ・水と光 織りなす世界 町の要所巧みに抽出 1月5日【朝日新聞】

●関連放送

- ・「スクーピーレポート」 12月2日【IBS茨城放送】
- ・「スクーピーレポート」 12月13日【IBS茨城放送】
- ・新日曜美術館アートシーン 12月17日【NHK教育】



わくわくガイド



わくわくガイド

●出品作品一覧

No.	作品名	制作年	材質技法	サイズ(縦×横)cm	所蔵先
I 夢の実現に向けて					
1	花	1941-42	油彩	91×65.2	
2	花	1943	油彩	91×65.2	
3	西洋梨(無花果の葉)	1947	油彩	34×33.5	
4	室内	1951-52	油彩	116.7×90.9	茨城県近代美術館
5	静物	1952	油彩	80.3×65.2	茨城県近代美術館
6	卓上静物	1954	油彩	116.7×90.9	潮来市

No.	作品名	制作年	材質技法	サイズ(縦×横)cm	所蔵先
Ⅱ バリへ 風景画家の誕生					
7	レーヌ・ブランシュ屋敷	—	油彩	60×48	潮来市
8	ボン・ヌフ(パリ)	1956-57	油彩	91×72.7	株式会社ニチロ
9	ルヴォア公園(パリ)	1961	油彩	45×37	
10	グルネル橋(パリ)	1963	油彩	80.3×100	
11	トゥルネル河岸(秋)	1963	油彩	49.5×65	
12	パリ近郊風景(シュヴルーズ)	1964	油彩	45.2×53	
13	トゥルネル橋からの眺め(ノートルダム遠望)	1964	油彩	65.5×100	
14	ノートルダム寺院(パリ)	1960-65	油彩	100×80.3	茨城県近代美術館
15	サン・ジェルヴェ寺院(パリ)	1965	油彩	100×80.3	帝国ホテル
16	フランス オンフルールの旧税関(旧総督邸)	1967	油彩	60.6×72.7	
Ⅲ セーヌの岸辺から					
i 風景					
17	サン・ルイ島河岸(パリ)	1967	油彩	90.9×116.7	
18	ガイヤールの城	1967	油彩	97×130.3	
19	マルヌ風景	1968	油彩	80.7×100.6	
20	コンコルド河畔(パリ)	1969	油彩	54×65	
21	プロヴァンスの城	1969-70	油彩	52×64.3	
22	ノートルダム河岸(パリ)	1972	油彩	37.9×45.5	
23	ノルマンディー風景	1972	油彩	81.3×101.5	
24	スペイン風景(バレンシア近くの谷)	1973-88	油彩	80.3×100	
25	セレスタン河岸	1974	油彩	50×60	
26	トゥルネル橋(パリ)	1974	油彩	34.5×26	
27	シュノンソーの城	1974-75	油彩	45.5×53	衆議院
28	パリの屋根(A)	1981	油彩	130×130	茨城県近代美術館
29	タルンの谷間	1982	油彩	45.5×53	
30	パリの窓	1983	油彩	45.5×38	
31	オンフルールの旧税関(旧総督邸)	1984	油彩	150×150	
32	ブルボン河畔よりの眺め	1984-85	油彩	53×65.2	
33	ノルマンディーの港(黄色い帆)	1985	油彩	150×150	
34	フランス北国のぼたやま	1985	油彩	58.5×71.5	
35	山の村(山の礼拝堂)	1986	油彩	92×116.7	
36	ヴィル・ダヴレーの池畔	1986	油彩	53×63.5	
37	グランダルの海岸	1987	油彩	90.9×116.7	
38	乗馬道	1986-87	油彩	65.5×80.9	
39	北ホテル	1988	油彩	65.2×80.3	
40	イル・ド・フランス	1988	油彩	45.5×53	
41	シャンゼリゼ	1989	油彩	150×150	
42	ドルドーニュ河畔の春	1990-91	油彩	60×73	
43	ヴェルサイユ(雪)	1990-99	油彩	150×150	
44	村の家	1992	油彩	41×33	
45	コレーズ地方の春 村の家	1993	油彩	54.5×46	
46	窓辺のミモザ	1993	油彩	81×65	
47	ヴァルの城	1994	油彩	73×60	
48	法隆寺の庭	1994-2005	油彩	130.3×130	
49	メルルの塔(コレーズ地方)	1995-96	油彩	120×120	
50	ロワール地方の春	1996	油彩	81×100	
51	アルハンブラ宮の丘(グラナダ)	1996-98	油彩	120×120	
52	麦畑	2005-06	油彩	81×54	
ii 聖堂					
53	ルーアンの聖堂	1967-73	油彩	130.3×97	
54	アミアンの聖堂	1981	油彩	100.3×80.3	
55	夜のノートルダム寺院	1982	油彩	150×150	茨城県近代美術館
56	サン・ジルの聖堂	1986	油彩	112.1×145.5	
57	ブルジュの聖堂	1988-89	油彩	80.3×100	
58	ストラスブールの聖堂	1992-2006	油彩	195×130	
iii 静物					
59	罌粟(けし)	1960-61	油彩	44.5×43.5	
60	リラ・ブラン	1969-71	油彩	100×80.3	

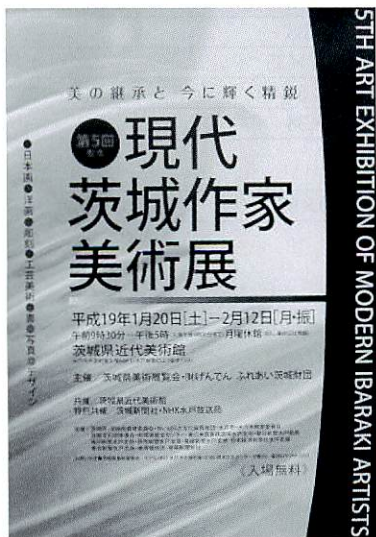
No.	作品名	制作年	材質技法	サイズ(縦×横)cm	所蔵先
61	けし	1973-85	油彩	73×59	
62	花	1984	油彩	116.7×90.9	
63	けし花	1986-88	油彩	100×80.3	
64	青い壺	1986	油彩	53×63.5	
65	チューリップ	1991-2005	油彩	92×73	
66	ひなげし	1992-2006	油彩	81×65	
67	葡萄(ぶどう)	1992	油彩	16×27	
68	葡萄(ぶどう)	1998	油彩	33.5×41.5	
69	ペゴニア	1999-2000	油彩	116×89	
70	鈴蘭	2002	油彩	55×46.5	
iv 睡蓮					
71	メルランソンの池	1987-88	油彩	130.3×163	
72	メルランソンのめざめ	1988-90	パステル	37×44.5	
73	睡蓮	1992	パステル(油彩加筆)	38×46	
74	睡蓮	1995-98	油彩	81×100	
75	睡蓮	2003-04	油彩	81×100	
IV 水と光が織りなす世界					
76	セレスタン河岸, サン・ルイ島よりの眺め(ノパリ)	2001-02	油彩	59×70	
77	秋のトゥルネル河岸	2002-03	油彩	59×72	
78	セーヌ河畔の古本屋	2003	パステル	50×61	
79	ノルマンディーの港(ドーヴィルからの眺め)	2003-05	油彩	89×116	
80	雪のセーヌ(ノートルダムスの眺め)	2003-05	油彩	97×130	
81	ブルターニュの朝	2003-05	油彩	65×81	
82	サン・ルイ島のブルボン河岸	2004-05	油彩	89×116	
83	サン・ルイ島よりの眺め	2005	油彩	50×60	
84	ドーヴィルの港	2005	パステル(油彩加筆)	46×55	
V 純然たる視覚の喜び					
i パステル					
85	バレリーナ	—	パステル	53×43	
86	幸子像	1972	パステル	53×45.5	
87	セーヌ河畔	1977	パステル	53×45.5	
88	けしの花	1983	パステル	53×45.5	
89	葡萄	1983	パステル	53×45	
90	赤い城	1983	パステル	53×45.5	
91	ヴィル・ダヴレー池畔	1986	パステル	44.5×53.5	
92	トゥルネルの雪	1987	パステル	46×55	
93	ブルターニュの教会	1988	パステル	46×55	
94	コレーズの春(溪流)	1989	パステル(油彩加筆)	38×46	
95	湖畔の秋(コレーズ)	1989	パステル(油彩加筆)	36×44	
96	田舎の家(フランス)	1991	パステル(油彩加筆)	36.2×45	
97	ロワールの春	1992	パステル(油彩加筆)	46×55	茨城県近代美術館
98	コレーズ地方の春(村の家)	1992	パステル(油彩加筆)	46×38	
99	日比谷公園の桜	—	パステル(油彩加筆)	26.7×35	
100	塩の花	1996	パステル(油彩加筆)	46×55	
101	コルドバの街角(スペイン)	1996	パステル(油彩加筆)	46×38	
ii ジェマイユ					
102	ルーアンの聖堂	1993	ジェマイユ	130×97	茨城県近代美術館

第5回 現代茨城作家美術展

- 会期 平成19年1月20日(土)～2月12日(月・振)
- 主催等 主催：茨城県美術展覧会／
 (つげんでん ふれあい茨城財団
 共催：茨城県近代美術館
 特別共催：茨城新聞社／NHK水戸放送局
 後援：茨城県／茨城県教育委員会／(ついで)ばらき
 文化振興財団／水戸市／水戸市教育委員会／茨
 城文化団体連合／(つ)常陽藝文センター／東日本
 旅客鉄道(株)水戸支社／朝日新聞水戸総局／毎日
 新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／産経新聞水
 戸支局／日本経済新聞社水戸支局／東京新聞水
 戸支局／(株)茨城放送／常陽新聞新社
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 24.1×25.2cm 144頁
 編集：能島征二
 発行：茨城県美術展覧会
- 入場者数 9,599人
- 観覧料 無料
- 出品点数 100点
- 内容解説
 日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書、写真、デザインの
 各分野で活躍している現代の茨城県在住作家（原則）によ
 る近年2年間での中央展等に出品した代表作を紹介する展
 覧会。県内の芸術文化の発展を目的とし、選考諮問委員会
 により推薦された本県美術界の中核を担う作家100名の作

品を一堂に展示した。(つげんでんふれあい茨城財団が主催に加わることで、無料の展覧会となり、県内で活躍中の作家の動向や現状をよく知ることのできる展覧会となった。

- 担当 堀江俊夫（首席学芸主事）
- 関連事業
 企画展ギャラリートーク
 担当 出品作家
 日時 1月29日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)
 2月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)
 各日とも午前11時30分、午後2時から
 会場 企画展示室
- 関連記事
 ・第5回記念 現代茨城作家美術展 会派超え一堂に
 1月5日【茨城新聞】
 ・県近代美術館 現代茨城作家美術展 20日から
 1月12日【朝日新聞】
 ・現代茨城作家美術展 1月17日【産経新聞】
 ・第5回現代茨城作家美術展 1月19日【日本経済新聞】
 ・現代茨城作家美術展 きょう開幕 会派超え100人が出
 品 1月20日【茨城新聞】
 ・現代茨城作家の美術展 100人の近作100点を展示
 1月23日【常陽新聞】
 ・美の継承と今に輝く精鋭 第5回 記念現代茨城作家美
 術展 1月25日【茨城新聞】
 ・5回目迎えた「現代茨城作家美術展」
 2月11日【茨城新聞】
- 関連放送
 ・「スクーパーレポート」 1月24日【IBS茨城放送】



ポスター B 2



図録



チラシ A 4

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(縦×横×高さ)cm	出品展
■日本画						
1	小林 恒岳	朝日(霞ヶ浦)・夕日(つくば)	2005(平成17年)	紙本彩色	162.0×454.6	第55回新興展
2	斎藤 彰男	悠	2005(平成17年)	紙本彩色	225.0×180.0	第90回院展
3	藤田 志朗	流 刻(りゅうこく)	2004(平成16年)	紙本彩色	227.3×181.8	第31回創画展
4	谷中 武彦	晨	2004(平成16年)	紙本彩色	180.0×220.0	第89回院展
5	山田 滋	瀧 声(りゅうせい)	2004(平成16年)	紙本彩色	230.0×190.0	第36回日展
6	石村 雅幸	天意考(てんいこう)	2004(平成16年)	紙本彩色	170.0×215.0	第89回院展
7	大坪 由明	ひまわりの道	2005(平成17年)	紙本彩色	225.0×180.0	第90回院展
8	角井 満夫	Requiem	2005(平成17年)	紙本彩色	182.0×227.0	第32回創画展
9	國司 華子	来・風・囀(らい・ふう・ず)	2004(平成16年)	紙本彩色	225.0×180.0	第89回院展
10	倉島 重友	小 憩	2004(平成16年)	紙本彩色	215.0×170.0	第89回院展
11	程塚 敏明	残された憧憬	2004(平成16年)	紙本彩色	227.3×181.8	第31回創画展
■洋 画						
12	飯泉 俊夫	琴を弾く男(はにわ)	2004(平成16年)	油彩・キャンバス	162.0×194.0	第70回記念東光展
13	井坂 忠	文明の蔭に	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	193.0×130.0	第90回二科展
14	磯崎 俊光	浄 域	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	214.0×150.3	第71回東光展
15	鎌田 道夫	甦	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	162.0×130.3	第90回二科展
16	北沢 計	春めく岸边	2004(平成16年)	油彩・キャンバス	130.3×162.0	第36回日展
17	清水 優	シエナの路地	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	162.0×162.0	第91回光風会展
18	鈴木 俊行	CONSTRUCTION OF BLUE' 04-6	2004(平成16年)	油彩・キャンバス	162.0×324.0	第30回東京展
19	立見 榮男	児童遊々	2004(平成16年)	アクリル・キャンバス	146.0×256.0	第58回二紀展
20	町田 博文	アンダルシア好日	2006(平成18年)	油彩・キャンバス	162.0×194.0	第92回光風会展
21	茂木 直喜	白 陽	2005(平成17年)	水彩・紙	130.3×162.0	第37回日展
22	柳田 昭	忘れえぬところ	2005(平成17年)	水彩・グワッシュ・紙	194.0×112.0	第64回水彩連盟展
23	山本 文彦	樹草	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	194.0×259.0	第59回二紀展
24	石山 匠	時の流れの中で	2006(平成18年)	アクリル・パネル・紙	162.0×162.0	第78回新構造社展
25	今橋 利満	刻の記憶	2004(平成16年)	アクリル・キャンバス	194.0×259.0	7人のアート展
26	植野 睦夫	追憶の譜	2005(平成17年)	油彩・アクリル・キャンバス	162.0×162.0	損保ジャパン美術財団選抜奨励展
27	宇野 彰	白い人	2006(平成18年)	油彩・キャンバス	162.1×130.3	「作家の視点2006」上野の森美術館大賞展受賞者展
28	菊池 元男	番屋にて	2006(平成18年)	油彩・キャンバス	194.0×130.3	第72回東光展
29	北澤 茂夫	私の街2004	2004(平成16年)	テンペラ・油彩・キャンバス	181.8×227.3	第58回二紀展
30	栗山 淳	驟 雨(しゅうう)	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	162.1×130.3	第90回二科展
31	小牧 幹	ある美術館の印象	2006(平成18年)	油彩・キャンバス	162.0×130.3	「作家の視点2006」上野の森美術館大賞展受賞者展
32	齋藤 茂男	古代賛歌I-VI	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	162.5×65.5×6 連作	TX開通記念つくば美術館
33	庄司 勲	北の人	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	162.2×162.2	第71回東光展
34	館野 弘	僕たちの将来 一囚れの形でー	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	191.0×223.0	第51回一陽展
35	玉川 信一	夜の雨	2004(平成16年)	油彩・キャンバス	208.0×262.5	第58回二紀展
36	富張 広司	波返して	2004(平成16年)	木版画	77.0×57.0	第55回モダンアート展
37	仲村 寛	私は仏になりたい	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	185.6×231.2	第59回二紀展
38	福満正志郎	ソラノマイーThe War	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	194.0×259.0	第73回独立展
39	松田 朝旭	遺跡の街	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	130.3×193.9	第90回二科展
40	谷田川 卓	跡(せき)06-03	2006(平成18年)	版画・シルクスクリーン	70.0×105.0	第78回新構造社展
41	山中 宣明	聴 韻	2004(平成16年)	ミクストメディア	227.3×181.1	第89回二科展
42	山田 幸夫	連 鎖	2005(平成17年)	ミクストメディア・キャンバス	181.8×227.3	第57回三軌会展
43	白木 俊之	山稜の古木I	2003(平成15年)	銅版画(メゾチント)	80.0×65.0	日本版画協会展
44	内藤 定壽	フォンターナ	2005(平成17年)	アクリル・油彩・パネル	162.0×194.0	われらの時代展
45	野沢 二郎	Gate	2004(平成16年)	油彩・キャンバス	218.0×291.0	個展(コパヤシ画廊/銀座)
46	福田 玲子	帰	2005(平成17年)	油彩・キャンバス	210.0×260.0	第41回主体展
■彫 刻						
47	能島 征二	慈 愛ーこもれびー	2004(平成16年)	ブロンズ	110.0×60.0×68.0	第36回日展
48	一色 邦彦	潮 音	2006(平成18年)	ブロンズ	74.0×80.0×50.0	個展
49	平戸 司郎	女	2004(平成16年)	石膏	60.0×60.0×115.0	第36回日展
50	槇野 仁一	萌(きざし)	2005(平成17年)	石膏	50.0×40.0×18.5	第37回日展
51	六崎 敏光	清 風	2005(平成17年)	アルミ	58.0×68.0×151.0	第51回一陽展
52	中原 篤徳	海嘯	2004(平成16年)	石膏・塑造	80.0×64.0×202.0	第36回日展

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(縦×横×高さ)cm	出品展
53	中村 義孝	梟を抱く少年	2006(平成18年)	ブロンズ	95.0×60.0×160.0	第52回一陽展
54	福島 賜興	503	2005(平成17年)	木(樺)	80.0×80.0×280.0	第90回二科展
55	柴田 良貴	纏(まと) われた女	2005(平成17年)	石膏	85.0×148.0×58.0	第37回日展
56	峯田 敏郎	「記念撮影 一壁」	2006(平成18年)	木(桂・樟), 銅	80.0×127.0×137.0	第80回国展

■工芸美術工

57	大西 勲	曲輪造黒・朱溜盛器	2005(平成17年)	松材・茨城県西金漆・曲輪造, 塗立	50.1×50.1×6.1	第52回日本伝統工芸展
58	荒田 耕治	緑藻釉幾何文様壺	2006(平成18年)	陶器・陶刻	35.0×35.0×38.0	第46回伝統工芸新作展
59	伊藤 東彦	布目山百合文花瓶	2006(平成18年)	陶器・布目化粧, 彩画	18.0×22.5×40.0	個展(水戸京成百貨店)
60	井上 壽博	雪の朝	2006(平成18年)	半磁器・ロクロ, 黒釉・白マット	37.0×31.5×43.5	第45回日本現代工芸美術展
61	須藤 了三	トロス(TOROS)	2005(平成17年)	ガラス・モザイク	117.0×91.0	第76回第一美術展
62	松田 正己	記憶の風景・翔	2006(平成18年)	銅・鍛金	33.0×57.0×22.0	第45回日本現代工芸美術展
63	寺本 守	銀彩鉢	2004(平成16年)	白磁・上絵, 銀彩	42.0×42.0×19.0	第51回日本伝統工芸展
64	渡辺 信雄	行雲	2004(平成16年)	陶器・手びねり, 象嵌, 彩泥彩	45.0×42.0×37.0	第36回日展
65	飯村 岩男	炭化泥彩線文壺	2005(平成17年)	陶器	36.0×36.0×35.0	第52回日本伝統工芸展
66	石黒 美男	愛	2005(平成17年)	銅・鍛金	32.0×29.0×68.0	第37回日展
67	菊地 弘	銀彩立華器	2006(平成18年)	陶土製型, 上絵銀彩	22.5×22.5×48.0	第46回伝統工芸新作展
68	小林 政美	オロスの妖精 III	2004(平成16年)	陶器・手びねり	23.0×46.0×70.0	「創作陶芸」の現在(茨城県陶芸美術館)
69	下山田昌右	歎	2005(平成17年)	陶器	44.5×26.5×45.5	第37回日展
70	田仲 範子	華 舞	2006(平成18年)	綿糸・綿布, 刺繍	91.0×65.2	第77回第一美術展
71	松井 康陽	棕灰釉練上発象文壺	2006(平成18年)	陶器・練上	36.2×36.2×33.0	第46回伝統工芸新作展
72	松浦 松夫	グラヴィール花器「群游(ぐんゆう)」	2006(平成18年)	クリスタルガラス・宙吹き成型, グラヴィール加工	19.0×19.0×26.0	第46回伝統工芸新作展
73	山路 和夫	剪纸寄せ型文深鉢(せんしよせかたもんふかばち)	2005(平成17年)	磁器・型紙による装飾	41.0×41.0×29.0	第45回伝統工芸新作展
74	福野 道隆	赤絵緋文鉢	2005(平成17年)	陶器・布目化粧, 顔彩, 赤絵, 金彩	46.0×46.0×14.0	第43回朝日陶芸展
75	滑川 由美	空, 高き日に	2004(平成16年)	毛, 綿, 麻・ゴブラン織り, ノッティング他	183.0×122.0	第36回日展

■書

76	佐川 備崖	化 育	2006(平成18年)	額装・漢字	160.0×180.0	第68回謙慎書道会展
77	宍倉 囀風	許渾詩	2005(平成17年)	額装・漢字	78.0×180.0	第37回日展
78	鈴木 赫鳳	王漁洋詩	2005(平成17年)	額装・漢字	242.0×61.0	第37回日展
79	鶴見 香萩	韓翃詩	2005(平成17年)	額装・漢字	242.0×61.0	第45回日本書作院展
80	山村 青雨	羅隱詩	2004(平成16年)	額装・漢字	242.0×61.0	第36回日展
81	吉澤 石琬	孟浩然詩	2005(平成17年)	額装・漢字	242.0×61.0	第37回日展
82	吉澤 鐵之	陶淵明詩	2005(平成17年)	額装・漢字	78.0×180.0	第37回日展
83	秋山 和也	落 葉	2005(平成17年)	額装・かな	78.0×180.0	第37回日展
84	石毛 如水	中原中也の詩「坊や」の一節	2005(平成17年)	額装・調和体	78.0×180.0	第22回読売書法展
85	大久保子龍	天声人語	2005(平成17年)	額装・調和体	242.0×61.0	第37回日展
86	小野 江華	蔣士銓詩	2005(平成17年)	額装・漢字	78.0×180.0	第37回日展
87	窪山 墨翠	賢 者	2005(平成17年)	額装・漢字	78.0×180.0	第37回日展
88	山内 香鶴	宋湘詩	2005(平成17年)	額装・漢字	242.0×61.0	第37回日展
89	山内 白華	洪鐘虚受	2004(平成16年)	額装・篆刻	35.0×26.0	第36回日展
90	辻 敬齋	孟子語他二題	2004・5(平成16・17年)	軸装・篆刻	167.0×46.0	第36・37回日展
91	中村 伸夫	李商隠詩句	2004(平成16年)	額装・漢字	180.0×78.0	第36回日展
92	森岡 隆	そ ら	2005(平成17年)	額装・かな	135.0×105.0	第37回日展

■写 真

93	小野 信一	ポートレート	2006(平成18年)	カラープリント	120.0×90.0	
94	福田 仁	気満つる杜	2005(平成17年)	モノクロームプリント	90.0×120.0	個展
95	藤井 正夫	幸せの日	2006(平成18年)	カラープリント	90.0×120.0	イタリア美術展
96	大貫 亘	冬の彩	2005(平成17年)	カラープリント	90.0×120.0	第90回二科展

■デザイン

97	小瀬 勝彦	イマジネーション'06・A-B	2006(平成18年)	紙(ミューズ)・アクリル・水彩	146.0×103.0	茨城デザイン協会展
98	加藤木洋一	退化ノススメ・2006	2006(平成18年)	アクリル・コラージュ	145.6×103.0	
99	竹江都志子	月夜の夢は伽話	2004(平成16年)	ワトソン紙・水彩ぼかし	146.0×103.0	Q人展
100	岡 喜一	記 憶	2002(平成14年)	アクリル	103.0×145.6	水戸市芸術祭美術展覧会

加山又造展

- 会期 平成19年2月17日(土)～3月25日(日)
- 主催等 主催：茨城県近代美術館
協賛：関彰商事株式会社
協力：東京国立近代美術館
- ポスター B2 B1
- チラシ A4 (2種：一般用/学校配布用)
- 図録 30.0×22.5cm 126頁
編集・発行：茨城県近代美術館
- 子供向けガイド A4 (両面印刷)
(展示室無料配布) わくわくガイド
 - ・徹底解剖 春秋波濤
 - ・加山又造さんの不思議な世界
- 入場者数 18,583人
- 観覧料 一般830(700)円/高大生580(470)円/
小中生350(230)円
※()内は20名以上の団体料金、および入館引換券
(JR東日本びゅうプラザ、みどりの窓口で2月10日
から発売)の料金
- 出品点数 合計48点
- 内容解説
戦後日本画壇を代表する文化勲章受章者・加山又造(1927～2004)の没後初の大規模な回顧展として開催した。
展覧会は4部構成とし、第1章では西洋画の影響を強く受けた初期動物画、第2章では昭和30年代後半以降の大和絵や琳派を現代的な感覚によって魅らせた作品、第3章では昭和40年代末から手がけた裸婦のシリーズ、第4章では昭和50年代にはじまる斬新な水墨画の世界を、それぞれ紹介した。
この展覧会では、屏風27点を含む48点の代表作を出品した。
- 担当 中田智則(副主任学芸員)

●関連事業

美術講演会

「加山又造の人と芸術」

講師 加藤貞雄(当館館長)

日時 3月3日(土) 午後1時30分～3時30分

会場 地階講堂

※入場無料

企画展ギャラリートーク

担当 中田智則(副主任学芸員)

日時 2月24日(土)、3月11日(日)

各日とも午後1時30分～2時30分

会場 企画展示室

実技講座

<初心者のための日本画体験講座—梅を描こう—>

講師 野角孝一氏(日本画家)

日時 3月17日(土)

会場 地階講座室

てんらんかいわくわくツアー

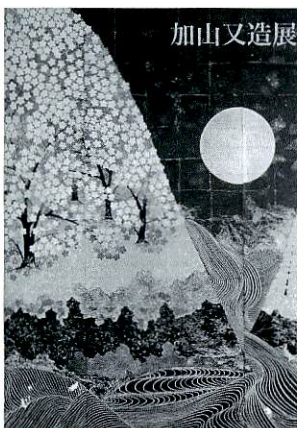
担当 山本哲士(主任学芸員)

日時 2月24日(土) 午前10時～12時

会場 企画展示室

●関連記事

- ・加山又造展 2月【茨城美術新聞】
- ・圧巻の加山又造展 2月15日【両毛新聞】
- ・きょうから加山又造展 生涯の画業を紹介
2月17日【常陽新聞】
- ・屏風中心に48点紹介 加山又造展きょう開幕 大型の作
品勢ぞろい 2月17日【茨城新聞】
- ・加山又造展 2月23日【日本経済新聞】
- ・構築した花鳥風月 2月28日【毎日新聞】
- ・加山又造展 3月【博物館研究】
- ・戦後の日本画切り開く 3月【朝日新聞】
- ・加山又造展 3月1日【新美術新聞】
- ・常に新しさを追求 加山又造回顧展 日本画多彩な48点
3月1日【茨城新聞】
- ・加山又造氏の代表作を披露 3月3日【朝日新聞】



図録



ポスター



チラシ A 4



わくわくガイド

- ・香気 あくまで「明香・華麗」加山又造展
3月7日【日本経済新聞】
- ・完璧な画面に深い影 3月10日【東京新聞】
- ・Kayama Matazou 3月10日【International Press】
- ・屏風絵の魅力 加山又造展から No.1～5
3月13日～17日【茨城新聞】
- ・月と縞馬 昭和29年(1954年)「加山又造展」から 県
近代美術館 3月14日【常陽新聞】
- ・加山又造の画業振り返る 3月15日【読売新聞】

- 関連放送
- ・加山又造展「ミュージアム
ガイド」
2月7日【IBS茨城放送】
- ・加山又造展「スクーピーレ
ポート」
3月1日【IBS茨城放送】
- ・新日曜美術館アートシーン
3月11日【NHK教育】



わくわくガイド

●出品作品一覧

No.	作品名	制作年	材質・技法	形状	サイズ(縦×横)cm	初出展	所蔵先
1	きつね	昭和17年(1942)	紙本・彩色	額装	86.9×114.1		広島県立瀬戸田高等学校
2	原始時代	昭和26年(1951)	紙本・彩色	額装	177.0×223.5	第15回新制作展	東京藝術大学
3	移住	昭和27年(1952)	紙本・彩色	額装	179.0×223.5	第16回新制作展	東京国立近代美術館
4	湖と鹿	昭和28年(1953)	紙本・彩色	額装	128.3×160.0	第17回新制作展	東京国立近代美術館
5	月と縞馬	昭和29年(1954)	紙本・彩色	額装	112.0×145.5	第1回現代日本美術展	
6	迷える鹿	昭和29年(1954)	紙本・彩色	額装	150.5×195.0	第18回新制作展	
7	悲しき鹿	昭和29年(1954)	紙本・彩色	額装	180.7×225.7	第18回新制作展	東京国立近代美術館
8	駆ける	昭和30年(1955)	紙本・彩色	屏風六曲一隻	178.0×328.5	第19回新制作展	
9	狼	昭和31年(1956)	紙本・彩色	屏風六曲一隻	177.8×327.5	第20回新制作展	
10	冬	昭和32年(1957)	紙本・彩色	額装	114.0×88.5	第21回新制作展	
11	冬	昭和32年(1957)	紙本・彩色	額装	128.5×192.0	個展(東京画廊)	東京国立近代美術館
12	人と駱駝	昭和32年(1957)	紙本・彩色	額装	162.0×130.0	個展(東京画廊)	福井県立美術館
13	紅鶴	昭和32年(1957)	紙本・彩色	額装	129.0×163.0	個展(東京画廊)	
14	冬	昭和33年(1958)	紙本・彩色	額装	111.5×144.5	第3回現代日本美術展	BSN新潟放送(新潟市美術館寄託)
15	五色の汗を流す馬	昭和35年(1960)	紙本・彩色	額装	130.0×162.0	第4回現代日本美術展	
16	白い太陽	昭和36年(1961)	紙本・彩色	屏風四曲一隻(額装)	142.2×265.6	第6回日本国際美術展	財団法人水野美術館
17	火の島	昭和36年(1961)	絹本・彩色	屏風六曲一双	各165.8×364.5	第25回新制作展	今治市大三島美術館
18	煙雲轟々	昭和37年(1962)	紙本・彩色	屏風三曲一双	右142.3×212.6 左142.3×197.8	第5回現代日本美術展	東京国立近代美術館
19	奥入瀬	昭和37年(1962)	絹本・彩色	屏風六曲一双	各168.3×376.0	第26回新制作展	
20	渦潮	昭和38年(1963)	紙本・彩色	屏風六曲一双	各168.7×374.0	第27回新制作展	
21	凍る日輪	昭和39年(1964)	紙本・彩色	額装	162.0×130.7	第6回現代日本美術展	神奈川県立近代美術館
22	春秋波濤	昭和41年(1966)	絹本・彩色	屏風六曲一隻	169.5×363.0	第30回新制作展	東京国立近代美術館
23	雪月花	昭和42年(1967)	絹本・彩色	屏風六曲一隻	168.8×355.7	第9回日本国際美術展	
24	彌生屏風	昭和44年(1969)	絹本・彩色	屏風六曲一隻	167.5×363.4	第33回新制作展	
25	千羽鶴	昭和45年(1970)	絹本・彩色	屏風六曲一双	各167.0×372.0	第34回新制作展	東京国立近代美術館
26	晨	昭和46年(1971)	紙本・彩色	額装	75.7×116.7	第12回轟会展	
27	華と猫	昭和48年(1973)	紙本・彩色	額装	100.4×73.5	第25回新制作日本画春季展	
28	裸婦習作	昭和51年(1976)	紙本・彩色	額装	78.9×115.4	山種美術館開館10周年記念展	山種美術館
29	黒い薔薇の裸婦	昭和51年(1976)	紙本・彩色	屏風四曲一隻	175.5×365.0	第3回創画展	東京国立近代美術館
30	白い薔薇の裸婦	昭和51年(1976)	紙本・彩色	屏風四曲一隻	175.5×365.0	第3回創画展	東京国立近代美術館
31	裸婦習作(カシミア錦青)	昭和53年(1978)	紙本・彩色	屏風二曲一隻	162.0×225.0	加山又造展(日本橋高島屋)	東京国立近代美術館
32	墨龍	昭和53年(1978)	紙本・墨画	屏風六曲一双	各173.0×366.0	加山又造展(日本橋高島屋)	
33	牡丹	昭和54年(1979)	紙本・墨画・彩色	屏風四曲一隻	246.0×518.0		富山県水墨美術館
34	凝	昭和55年(1980)	紙本・彩色	額装	64.0×89.0		セキ美術館
35	凍れる月光	昭和56年(1981)	紙本・墨画	屏風四曲一隻	174.0×359.0	第8回創画展	富山県水墨美術館
36	黄山霖雨	昭和57年(1982)	紙本・墨画	屏風六曲一隻	174.2×419.2	加山又造1982展(東京セントラル美術館)	京都国立近代美術館
37	黄山湧雲	昭和57年(1982)	紙本・墨画	屏風六曲一隻	174.2×419.2	加山又造1982展(東京セントラル美術館)	京都国立近代美術館
38	雪ノ溪	昭和58年(1983)	紙本・墨画	屏風四曲一隻	162.0×316.0	第10回創画展	
39	一九八四・東京	昭和59年(1984)	紙本・墨画	屏風四曲一隻	161.0×316.0	第11回創画展	東京国立近代美術館
40	春宵	昭和60年(1985)	紙本・彩色	屏風四曲一隻	156.0×316.0	第12回創画展	
41	おぼろ	昭和61年(1986)	紙本・彩色	屏風四曲一隻	174.0×360.0	第13回創画展	
42	長城	昭和62年(1987)	紙本・墨画・彩色	屏風六曲一隻	167.5×360.0	第14回創画展	
43	黎明	平成4年(1992)	紙本・彩色	額装	80.5×116.7	第18回春季創画展	
44	仿北宋寒林雪山	平成4年(1992)	紙本・墨画	屏風六曲一隻	174.0×420.0	第19回創画展	
45	黄山雲海	平成7年(1995)	紙本・墨画	屏風四曲一隻	174.5×354.0	第22回創画展	
46	夜桜	平成10年(1998)	紙本・彩色	屏風六曲一隻	178.5×364.0	第25回創画展	
47	雪の桜島	平成11年(1999)	紙本・彩色	額装	112.0×162.0	第26回創画展	
48	春の夜	平成14年(2002)	紙本・彩色	額装	90.7×145.5	第29回創画展	

2 常設展

第1常設展示室では、中村彝、五浦の作家、小川芋銭等、本県を代表する作家の作品に加えて近代美術の名品を順次展示した。一方、第2常設展示室では所蔵品による企画展示とし、それぞれ特色ある一つの展覧会として展開し、1,700件余りの所蔵品の中から順次紹介した。

●入館者数 84,243人

●観覧料 一般300(230)円／高大生230(170)円／小中生170(110)円

※（ ）内は20名以上の団体および入館引換券

●会期及びテーマ

第1常設展示室			第2常設展示室		
No.	期間	テーマ	No.	期間	テーマ
1	4月19日(水) ～6月4日(日)	新収蔵品を中心に	1	4月19日(水) ～6月4日(日)	木村武山 彩色杉戸絵
2	6月7日(水) ～7月23日(日)	茨城の作家と日本の近代美術1期	2	6月7日(水) ～7月23日(日)	武井武雄刊本作品
3	7月26日(水) ～9月18日(月・祝)	茨城の作家と日本の近代美術2期	3	7月26日(水) ～9月18日(月・祝)	木内克一 女体礼讃一
4	9月21日(木) ～11月3日(金・祝)	茨城の作家と日本の近代美術3期	4	9月21日(木) ～11月3日(金・祝)	ベスト・セレクション
5	12月5日(火) ～1月21日(日)	茨城の作家と日本の近代美術4期	5	12月5日(火) ～1月21日(日)	洋行する画家たち
6	1月24日(水) ～3月4日(日)	茨城の作家と日本の近代美術5期	6	1月24日(水) ～4月15日(日)	ザ・ヌード
7	3月6日(火) ～4月15日(日)	茨城の作家と日本の近代美術6期			

●関連記事

- ・「新収蔵品を中心に」世阿弥の能で女心描く 4月21日【朝日新聞】
- ・菱田春草「砧」など14点 県近代美術館 新収蔵品を公開 4月22日【茨城新聞】
- ・県近代美術館常設展「新収蔵品を中心に」 5月18日【よみうりタウンニュース】
- ・岸田劉生「窗外夏景」陽光が注ぐ風景に共感 7月1日【朝日新聞】
- ・「女」木内克 7月2日【Governor's Monthly Letter】
- ・こだわりの「童画」を紹介 武井武雄氏の刊行作品展 7月9日【常陽新聞】
- ・木内克「女」肉体美を力強く表現 9月1日【朝日新聞】
- ・県近代美術館コレクション展 新収蔵作品54点紹介 10月5日【茨城新聞】
- ・マネ「白菊の図」日本趣味の影響色濃く 10月20日【朝日新聞】
- ・カミーユ・ピサロ「グルーエットの丘からの眺め ポントワーズ」セザンヌとの交流物語る 1月26日【朝日新聞】
- ・第1常設展「茨城の作家」第2常設展「ザ・ヌード」 3月【BLife】

●関連放送

- ・新収蔵品展「スクーパーレポート」 5月18日【IBS茨城放送】
- ・木内克「スクーパーレポート」 8月12日【IBS茨城放送】
- ・ベスト・セレクション「スクーパーレポート」 10月18日【IBS茨城放送】



● 出品作品一覧

第1 常設展示室

● 「茨城の作家と日本の近代美術」 1～6 期

日本美術院を創設した岡倉天心とともに、一時茨城県北茨城市五浦で研鑽を積んだ横山大観、菱田春草らの日本画家による「五浦の作家」、牛久沼畔に住んだ日本画家「小川芋銭」、大正期の洋画界に旋風を起こした洋画家「中村彝」というように、茨城に関係する近代作家の三つのコーナーを軸として、日本の近代洋画、日本画、彫刻等を紹介するとともに、茨城の作家を順次展示し、日本の近代美術、茨城の美術を立体的に紹介した。

● 新収蔵品を中心に 平成18年4月19日(水)～6月4日(日)

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	サイズ （縦×横） 高さ×幅×奥行/cm	備考
<日本画>							
1	菱田 春草	1874-1911	砧	明治38年(1905)	絹本・彩色・軸装	49.4×83.5	
2	門井 掬水	1886-1976	念仏講	不詳	絹本・彩色・軸装	214×171	
3	門井 掬水		夕浜	昭和15年(1940)	絹本・彩色・額装	185×226	
4	永田 春水	1889-1960	春光煦々	大正15年(1926)	紙本・彩色・額装	239×140	
5	永田 春水		春暉曉艶	大正15年(1926)	絹本・彩色・軸装 (対幅)	各210×165	
6	鴨下 晁湖	1890-1967	祖先と俱に在り	昭和13年(1938)	絹本・彩色・額装	163.5×168	
7	長山 はく	1893-1995	罌粟	大正14年(1925)	絹本・彩色・屏風 (二曲一隻)	169×169.4	関澤賢氏寄贈
8	佐藤 多持	1919-2004	水芭蕉に関する作品2	昭和33年(1958)	紙本・岩彩・額装	72.8×52.5	佐藤美喜子氏寄贈
9	佐藤 多持		水芭蕉に関する作品II(迎春)	昭和36年(1961)	紙本・墨・岩彩・額装	88.5×130.2	佐藤美喜子氏寄贈
10	佐藤 多持		水芭蕉曼陀羅 黄17	昭和44年(1969)	紙本・彩色・屏風 (二曲一隻)	161.5×181.6	佐藤美喜子氏寄贈
<油彩画>							
11	森田 茂	1907-	黒川能 春の舞	平成2年(1990)	油彩・麻布・額装	162×130.6	田中忍氏寄贈
<彫刻>							
12	伊藤 鈎	1933-	石匠	昭和53年(1978)	大理石	50×28×30	作者寄贈
13	能島 征二	1941-	悠久の時	平成12年(2000)	ブロンズ	108×43×67.5	
14	能島 征二		慈愛ーこもれば	平成16年(2004)	ブロンズ	110×60×68	
<中村彝²⁵>							
15	中村 彝	1887-1924	目白の冬	大正8年(1919)	油彩・麻布・額装	45.5×60.6	
16	中村 彝		鬮籠の静物	大正12年(1923)	木炭・紙・額装	66×49	菊池五郎氏寄贈
17	中村 彝		人体デッサン	明治41年頃(c.1908)	木炭・紙・額装	62.7×47	菊池五郎氏寄贈
18	中村 彝		目白の冬	大正8年頃(c.1919)	赤チョーク・紙・額装	47.5×62.7	菊池五郎氏寄贈
<茨城の洋画家>							
19	辻 永	1884-1974	夾竹桃と山羊	大正2年(1913)	油彩・麻布・額装	81×81	
20	熊岡 美彦	1889-1944	黒紗をまとへる女	大正7年(1918)	油彩・麻布・額装	71.5×59.5	寄託
21	鈴木 良三	1898-1996	赤い服の娘	昭和5年頃(c.1930)	油彩・麻布・額装	90×64.5	大塚子之吉氏寄贈
22	服部正一郎	1907-1995	浴衣像	昭和12年(1937)	油彩・麻布・額装	162.4×112.2	服部美代氏寄贈
23	鶴岡 義雄	1917-	少女の像	昭和25年(1950)	油彩・麻布・額装	89×72	
<天心記念茨城賞>							
24	岡田 眞治	1962-	冬のベネチア	平成15年(2003)	紙本・彩色・額装	215×170	第19回受賞作
25	宮北 千織	1967-	うつろふ	平成16年(2004)	紙本・彩色・額装	170×215	第10回受賞作

●茨城の作家と日本の近代美術 1期 平成18年6月7日(水)～7月23日(日)

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	サイズ ^(縦×横) 高さ×幅×奥行/cm	備考
<五浦の作家>							
1	横山 大観	1868-1958	春曙・秋夜	明治38年(1905)	絹本・彩色・卷子(対)	各109.4×245.4	
2	木村 武山	1876-1942	薔薇	昭和6年頃(c.1931)	絹本・彩色・軸装	43.9×53.5	寄託
3	木村 武山		烏骨鷲	昭和8年(1933)	絹本・彩色・屏風 (二曲一隻)	170×170	
<小川芋銭>							
4	小川 芋銭	1868-1938	狐隊行	昭和5年(1930)	紙本・淡彩・軸装	45.3×62.5	
5	小川 芋銭		六月の桜(奥の細道)	昭和10年(1935)	絹本・淡彩・軸装	50×56.8	
6	小川 芋銭		河伯言	昭和10年頃(c.1935)	紙本・墨画・軸装	39.7×47.5	
7	小川 芋銭		水村七夕	昭和10年頃(c.1935)	紙本・淡彩・軸装	137×33	
8	小川 芋銭		緑雨	昭和11年(1936)	絹本・淡彩・軸装	142×42.6	
9	小川 芋銭		早夏人馬之野	昭和12年頃(c.1937)	紙本・淡彩・軸装	44.2×59	
<近代日本画>							
10	竹内 栖鳳	1864-1942	水郷	昭和16年(1941)	紙本・墨画・軸装	50×67	
11	鐙木 清方	1878-1972	夏の女客	昭和8年(1933)	絹本・彩色・軸装	129.7×42.3	
12	小杉 未醒	1881-1964	楽人と踊子	大正10年頃(c.1921)	紙本・金地・彩色・ 屏風(二曲一双)	各168×166	志村國作氏寄贈
13	小野 竹喬	1889-1979	海晴	昭和4年頃(c.1929)	紙本・彩色・屏風 (二曲一隻)	180×177	
14	酒井 三良	1897-1969	汀	昭和36年(1961)	紙本・彩色・額装	103×133	
<茨城の洋画家>							
15	熊岡 美彦	1889-1944	銚子海岸	昭和16年(1941)	油彩・麻布・額装	72.9×91	
16	安藤 信哉	1897-1983	蓮	昭和51年(1976)	油彩・麻布・額装	117×117	安藤いそ氏寄贈
17	鈴木 良三	1898-1996	銀扇	昭和22年(1947)	油彩・麻布・額装	80×64	作者寄贈
18	服部正一郎	1907-1995	鯉	昭和9年(1934)	油彩・麻布・額装	91×116.6	服部美代氏寄贈
19	森田 茂	1907-	黒川能	昭和48年(1973)	油彩・麻布・額装	129.5×97	
<中村彝>							
20	中村 彝	1887-1924	木立風景	明治42年(1909)	油彩・麻布・額装	43×59	
21	中村 彝		静物	大正2-3年 (1913-14)	油彩・麻布・額装	37.9×45.5	
22	中村 彝		裸体	大正5年(1916)	油彩・麻布・額装	99.8×80.5	
23	中村 彝		静物	大正8年(1919)	油彩・板・額装	31.8×39.4	
24	中村 彝		花	大正12年(1923)	油彩・麻布・額装	58.8×47.7	
<近代日本洋画>							
25	中沢 弘光	1874-1964	水郷より筑波遠望	昭和30年代 (1955-64)	油彩・麻布・額装	45.5×53	
26	山下新太郎	1881-1966	庭上	昭和21年(1946)	油彩・麻布・額装	72×59.5	
27	斎藤 与里	1885-1959	夏の小川	昭和18年(1943)	油彩・麻布・額装	99.5×80	
28	寺内萬治郎	1890-1964	婦人像	昭和10-20年 (1935-45)	油彩・麻布・額装	90×71.6	
29	大久保作次郎	1890-1973	六月の池	昭和32年(1957)	油彩・麻布・額装	80.3×100	
30	岸田 劉生	1891-1929	窓外夏景	大正10年(1921)	油彩・麻布・額装	38×45.5	
<茨城の彫刻家>							
31	小森 邦夫	1917-1993	南風	昭和61年(1986)	ブロンズ	120×43×28	小森あい氏寄贈
32	土谷 武	1926-2004	虫Ⅱ	昭和44年(1969)	木	9×47.5×44.5	作者寄贈

●茨城の作家と日本の近代美術 2期 平成18年7月26日(水)～9月18日(月・祝)

作者名	生没年(西暦)	作品題名	制作年	材質・形状	サイズ(縦×横) 高さ×幅×奥行cm	備考
<五浦の作家>						
横山 大観	1868-1958	秋	明治32年頃(c.1899)	紙本・彩色・額装	84×78	小野里茂氏寄贈
横山 大観		朝顔日記	明治33年頃(c.1900)	絹本・彩色・軸装	123×50	
<小川芋銭>						
小川 芋銭	1868-1938	糸瓜と狗子	明治43年頃(c.1910)	紙本・淡彩・軸装	129×40	3～5で三幅対
小川 芋銭		雷神	明治43年頃(c.1910)	紙本・淡彩・軸装	129×40	
小川 芋銭		長茄子と雛	明治43年頃(c.1910)	紙本・淡彩・軸装	129×40	
小川 芋銭		祭魚	昭和7年頃(c.1932)	紙本・墨画・軸装	43×52.3	
小川 芋銭		江村楽民	昭和9年(1934)	紙本・淡彩・軸装	128×32.5	
小川 芋銭		河童	昭和11年(1936)	紙本・墨画・軸装	36×29	
<茨城の日本画家>						
飛田 周山	1877-1945	白雲紅樹図	大正15年(1926)	絹本・墨画淡彩・軸装	131×41.9	寄託
小林渠居人	1897-1978	岩	昭和15年(1940)	紙本・彩色・屏風(二曲三隻)	各177.4×207.4	
<近代日本画>						
西山 翠嶂	1879-1958	飛魚	明治末期(c.1907-12)	絹本・彩色・軸装	66.5×83.4	
富田 溪仙	1879-1936	長江瀟船	大正8年頃(c.1919)	紙本・淡彩・屏風(六曲一双)	各171×361	
今村 紫紅	1880-1916	海辺図	明治44年頃(c.1911)	絹本・彩色・軸装	96.3×35.6	
安田 靱彦	1884-1978	鴨川夜情	昭和7年(1932)	紙本・墨画・彩色・額装	87.5×119.7	
小茂田青樹	1891-1933	鮎	大正12年(1923)	絹本・彩色・軸装	25×32.3	
<中村彝>						
中村 彝	1887-1924	自画像	明治42年頃(c.1909)	油彩・キャンバスボード・額装	32×22.5	菊池五郎氏寄贈
中村 彝		大島風景	大正4年(1915)	油彩・麻布・額装	22.5×32	
中村 彝		静物	大正5年(1916)	油彩・麻布・額装	42×52	
中村 彝		雉子の静物	大正8年(1919)	油彩・麻布・額装	57.5×49.5	
中村 彝		男の顔	大正9年(1920)	油彩・麻布・額装	45.5×38	
<茨城の洋画家>						
栗原 信	1894-1966	モレーの町	昭和3年(1928)	水彩・紙・額装	31×37.1	栗原ヤヘ氏寄贈
栗原 信		潮来	昭和38年(1963)	水彩・紙・額装	25×33	栗原ヤヘ氏寄贈
小堀 進	1904-1975	画室の一隅	昭和7年(1932)	水彩・紙・額装	72.5×58.4	小堀昭氏寄贈
小堀 進		港	昭和8年(1933)	水彩・紙・額装	55×74.5	小堀昭氏寄贈
酒泉 淳	1910-	砂丘	昭和23年(1948)	水彩・紙・額装	68×94	作者寄贈
酒泉 淳		白い船	昭和29年(1954)	水彩・紙・額装	80.3×100	作者寄贈
小野瀬 進	1924-	丘上集落	平成3年(1991)	水彩・紙・額装	130.3×97	作者寄贈
柳田 昭	1948-	野に立つ	平成4年(1992)	グワッシュ・麻紙・額装	112×194	作者寄贈
<近代日本洋画>						
五姓田義松	1855-1915	朝陽の富士	明治36-38年頃(c.1903-05)	油彩・麻布・額装	73.7×98.5	
吉田 博	1876-1950	槍ヶ岳	大正10-15年(1921-26)	油彩・麻布・額装	61×80	
岡 鹿之助	1898-1978	観測所(信号台)	大正15年(1926)	油彩・麻布・額装	46×55	
鳥海 青児	1902-1972	アルジェの広場	昭和7年頃(c.1932)	油彩・麻布・額装	31.8×40.9	
山口 薫	1907-1968	カッシス風景	昭和8年(1933)	油彩・麻布・額装	65.1×80.3	
<近代日本の彫刻家>						
湯原 和夫	1930-	無題No.4-66	昭和41年(1966)	ステンレス	31.1×31.1×31.1	
湯原 和夫		不快な門	昭和47年(1972)	真鍮・塗装	36.5×36.5×36.5	
田中信太郎	1940-	ディスタンスシリーズ 弧	昭和51年(1976)	ステンレススティール	49.5×34.5×7.9	

●茨城の作家と日本の近代美術 3期 平成18年9月21日(木)～11月3日(金・祝)

No	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	サイズ(縦×横)cm	備考
<ブロンズ・テラコッタ>							
1	横山 大観	1868-1958	瀟湘八景<遠浦雲帆>	大正2-3年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50	1～8で八幅対
2	横山 大観		瀟湘八景<山市晴嵐>	大正2-3年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50	

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	サイズ(縦×横×高さ)cm	備考
3	横山 大観		瀟湘八景<瀟湘夜雨>	大正2・3年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50	
4	横山 大観		瀟湘八景<烟寺晚鐘>	大正2・3年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50	
5	横山 大観		瀟湘八景<漁村返照>	大正2・3年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50	
6	横山 大観		瀟湘八景<平沙落雁>	大正2・3年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50	
7	横山 大観		瀟湘八景<洞庭秋月>	大正2・3年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50	
8	横山 大観		瀟湘八景<江天暮雪>	大正2・3年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50	
9	菱田 春草	1874-1911	秋宵	明治38年(1905)	絹本・彩色・額装	35×86	
10	木村 武山	1876-1942	イソップ物語	大正元・2年 (1912-13)	絹本・金地・彩色・屏風 (二曲一双)	各169×182	

<茨城の日本画家>

11	松平 雪江	1834-1916	四睡之図	不詳	紙本・淡彩・軸装	130×52	小林 彬氏寄贈
12	奥原 晴湖	1837-1913	西園雅集図	明治13年(1880)	紙本・淡彩・軸装	132×56	
13	猪瀬 東寧	1838-1908	秋景山水図	明治35年(1902)	絹本・墨画・軸装	135×56	猪瀬 貢氏寄贈
14	小川 芋銭	1868-1938	海島秋来	昭和7年(1932)	紙本・淡彩・軸装	112×95	

<近代日本画>

15	川合 玉堂	1873-1957	漁村早春,秋溪帰駄	大正2年頃(c.1913)	絹本・彩色・軸装(対幅)	各136×55	
16	奥村 土牛	1889-1990	仔馬	昭和12年(1937)	絹本・彩色・屏風 (二曲一隻)	160×192	
17	小茂田青樹	1891-1933	乙鱈帰帆	大正4年(1915)	絹本・彩色・軸装	56×86	

<中村 彝>

18	中村 彝	1887-1924	自画像	明治42年頃(c.1909)	油彩・キャンバスボード・額装	32×22	菊池五郎氏寄贈
19	中村 彝		大島風景	大正4年(1915)	油彩・麻布・額装	22×32	
20	中村 彝		カルピスの包み紙のある静物	大正12年(1923)	油彩・麻布・額装	60×50	升本喜三郎氏寄贈

<茨城の洋画家>

21	辻 永	1884-1974	須磨の朝	昭和31年(1956)	油彩・麻布・額装	72×90	
22	栗原 信	1894-1966	小川	昭和5年(1930)	油彩・麻布・額装	72×99	
23	渡辺 浩三	1897-1980	ブロードローム(球戯場)の門	昭和3年(1928)	油彩・麻布・額装	60×72	渡辺 惇氏寄贈
24	鈴木 良三	1898-1996	月(唐津)	昭和58年(1983)	油彩・麻布・額装	146×112	
25	服部正一郎	1907-1995	燈台(C)エリモ	昭和34年(1959)	油彩・麻布・額装	48×59	
26	堀越 隆次	1916-1984	母と子(B)	昭和26年(1951)	油彩・麻布・額装	162×130	堀越吟子氏寄贈

<近代日本洋画>

27	萬 鉄五郎	1885-1927	家のある風景	大正4年(1915)	油彩・麻布・額装	45×33	
28	岸田 劉生	1891-1929	籠中脂香	大正12年(1923)	油彩・麻布・額装	32×33	
29	中川 一政	1893-1991	静物	大正10年(1921)	油彩・麻布・額装	30×40	
30	高島達四郎	1895-1976	鳥籠	昭和33年(1958)	油彩・麻布・額装	53×65	
31	三岸好太郎	1903-1934	花	昭和6年(1931)	油彩・麻布・額装	79×63	
32	金山 康喜	1926-1959	聖ヘレニウスの鍋	昭和25年(1950)	油彩・麻布・額装	72×90	

<水彩画・素描>

33	熊谷 守一	1880-1977	裸婦立像	不詳	パステル・紙	38×27	熊谷 黄氏寄贈
34	熊谷 守一		水蓮に蛙	昭和48年頃(c.1973)	水彩・コンテ・紙	28×32	熊谷 黄氏寄贈
35	熊谷 守一		スイレンニトノサマ蛙	昭和50年頃(c.1975)	コンテ・紙	11×31	熊谷 黄氏寄贈

<近代日本の彫刻家>

36	菅原 安男	1905-2001	みとつぼ画伯	昭和60年(1985)	ブロンズ	44×37×25	菅原二郎氏寄贈
37	佐藤 忠良	1912-	帽子	昭和56年(1981)	ブロンズ	38×28×30	
38	舟越 保武	1912-2002	萩原朔太郎	昭和30年(1955)	ブロンズ	30×23×28	

●茨城の作家と日本の近代美術 4期 平成18年12月5日(火)～平成19年1月21日(日)

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	サイズ(縦×横×高さ)cm	備考
<五浦の作家>							
1	横山 大観	1868-1958	鹿島神宮	昭和3年(1928)	絹本・淡彩・軸装	149×57	※No.2と対幅
2	横山 大観		筑波山	昭和3年(1928)	絹本・淡彩・軸装	149×57	※No.1と対幅
3	菱田 春草	1874-1911	柴舟	明治33年(1900)	絹本・彩色・軸装	116×50	
4	木村 武山	1876-1942	日月秋冬	大正期(c.1912-1926)	絹本・彩色・軸装(対幅)	各129×40	椅座一臣氏寄贈
<小川芋銭>							
5	小川 芋銭	1868-1938	夢中野干燈	大正14年(1925)	紙本・墨画・軸装	63×85	
6	小川 芋銭		霞ヶ浦	昭和10年(1935)	紙本・墨画・軸装	78×114	
7	小川 芋銭		待鶏鳴	昭和12年頃(c.1937)	絹本・淡彩・軸装	142×42	
<近代日本画>							
8	小林 古徑	1883-1957	壺	昭和25年(1950)	絹本・彩色・額装	121×85	
9	安田 靱彦	1884-1978	源氏若紫	昭和8年(1933)	絹本・彩色・軸装	131×51	
10	小茂田青樹	1891-1933	山茶花	昭和6年頃(c.1931)	紙本・彩色・軸装	112×32	
11	児玉 希望	1898-1971	林檎花	大正15年(1926)	絹本・彩色・屏風(二曲一隻)	197×210	
12	森田 曠平	1916-1994	雨月物語(浅茅ヶ宿)	昭和51-52年(1976-77)	紙本・彩色・額装(五点組)	各49×122～462	寄託
<茨城の日本画家>							
13	永田 春水	1889-1970	萬年孔雀図	昭和12年頃(c.1937)	絹本・金地・彩色・屏風(二曲一双)	各171×172	
14	小林巢居人	1897-1978	よだかの星	昭和26年(1951)	紙本・彩色・屏風(二曲一双)	各172×255	
<中村 彝>							
15	中村 彝	1887-1924	中之作風景	明治41年(1908)	油彩・板・額装	28×42	
16	中村 彝		雉子の静物	大正8年(1919)	油彩・麻布・額装	58×50	
17	中村 彝		目白の冬	大正8年(1919)	油彩・麻布・額装	46×61	
<茨城の洋画家>							
18	熊岡 美彦	1889-1944	花	大正13年(1924)	油彩・麻布・額装	92×77	三井高義氏寄贈
19	安藤 信哉	1897-1983	静物	昭和48年(1973)	油彩・麻布・額装	130×130	安藤いそ氏寄贈
20	鈴木 良三	1898-1996	落合の小川	大正11年(1922)	油彩・麻布・額装	73×91	作者寄贈
21	稲村 退三	1901-1994	サマルカンドの月	昭和53年(1978)	油彩・麻布・額装	130×162	作者寄贈
22	柳田 昭	1948-	ある冬の日	昭和62年(1987)	アクリル・麻布・額装	112×162	作者寄贈
<小堀 進>							
23	小堀 進	1904-1975	美ヶ原高原	昭和30年(1955)	水彩・紙・額装	81×116	寄託
24	小堀 進		三原山	昭和32年(1957)	水彩・紙・額装	61×91	小堀昭氏寄贈
25	小堀 進		砂丘	昭和33年(1958)	水彩・紙・額装	68×101	小堀昭氏寄贈
26	小堀 進		夕照	昭和34年(1959)	水彩・紙・額装	87×123	小堀昭氏寄贈
27	小堀 進		晨峯	昭和39年(1964)	水彩・紙・額装	85×122	小堀昭氏寄贈
28	小堀 進		山麓	昭和48年(1973)	水彩・紙・額装	95×143	寄託
<茨城の彫刻家>							
29	木内 克	1892-1977	足をあげる女	昭和24年(1949)	ブロンズ	65×54×32	田中正氏寄贈
30	後藤 清一	1893-1984	母と子	昭和9年(1934)	ブロンズ	28×12×19	
31	小森 邦夫	1917-1993	南風	昭和61年(1986)	ブロンズ	120×43×28	小森あい氏寄贈
32	一色 邦彦	1935-	こう	昭和39年(1964)	ブロンズ	67×50×40	寄託

●茨城の作家と日本の近代美術 5期 平成19年1月24日(水)～3月4日(日)

6期 平成19年3月6日(火)～4月15日(日)

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	サイズ(縦×横×高さ)cm	備考
<五浦の作家>							
1	横山 大観	1868-1958	海嶽	明治38年頃(c.1905)	絹本・彩色・軸装	117×50	春の朝と対幅 ◎
2	横山 大観		四方竹	大正14年(1925)	絹本・墨画・軸装	124×42	春の朝と対幅 ◎
3	横山 大観		山に因む十題 靈峰四趣・其一春	昭和15年(1940)	紙本・彩色・軸装	75×111	○
4	下村 観山	1873-1930	竹林七賢図	明治45年頃(c.1912)	絹本・彩色・屏風(六曲一双)	各169×374	◎

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法(縦×横×高さ)cm	備考
5	下村 観山		高士観瀑	大正8年(1919)	絹本・彩色・軸装(対幅)	各142×55	○
6	菱田 春草	1874-1911	普賢菩薩	明治35年頃(c.1902)	絹本・彩色・軸装	95×50	◎
7	菱田 春草		猫に鳥	明治43年(1910)	紙本・金地・彩色・屏風 (二曲一双)	各162×162	○
8	木村 武山	1876-1942	法然上人	大正6年(1917)	絹本・彩色・軸装	167×82	秋の夕と対幅 ◎
9	木村 武山		弁財天	大正15年(1926)	絹本・彩色・軸装	181×85	◎

<小川芋銭>

10	小川 芋銭	1868-1938	月輪穿沼	大正14年(1925)	紙本・墨画・軸装	60×92	◎
11	小川 芋銭		止水	昭和4年(1929)	紙本・墨画・軸装	78×110	○
12	小川 芋銭		天下第一峯	昭和5年頃(c.1930)	絹本・淡彩・軸装	135×42	◎
13	小川 芋銭		河童百図 <三味線のけいこ>	昭和12年(1937)	紙本・淡彩・軸装	34×65	◎
14	小川 芋銭		寿老	昭和12年(1937)	紙本・淡彩・軸装	21×54	○
15	小川 芋銭		引舟	昭和12年(1937)	紙本・淡彩・軸装	20×53	◎
16	小川 芋銭		翁面	昭和12年(1937)	紙本・淡彩・軸装	45×53	○

<茨城の日本画家>

17	奥原 晴湖	1837-1913	富貴飛燕 芙蓉翡翠	明治28年(1895)	絹本・彩色・軸装(対幅)	各131×43	◎
18	松本 楓湖	1840-1923	永代橋開橋式之図	明治34年(1901)	絹本・彩色・軸装	71×85	川上涇氏寄贈 ◎
19	小林巢居人	1897-1978	土機光象	昭和18年(1943)	紙本・彩色・卷子(上・下)	各55×1660/ 1662	山崎敬子氏寄贈 ◎
20	浦田 正夫	1910-1997	磯	昭和32年(1957)	紙本・彩色・額装	161×121	作者寄贈 ◎
21	加倉井和夫	1919-1995	ギリシャ回想	昭和53年(1978)	紙本・彩色・額装	116×73	◎

<近代日本画>

22	今村 紫紅	1880-1916	牧童	明治43年頃(c.1910)	紙本・墨画・軸装	148×46	○
23	小林 古径	1883-1957	少女	大正13年頃(c.1924)	絹本・彩色・軸装	123×42	○
24	安田 鞞彦	1884-1978	羅浮仙	昭和10年頃(c.1935)	絹本・彩色・軸装	130×51	○
25	山村 耕花	1885-1942	寒山・拾得	大正6年(1917)	絹本・彩色・金泥・軸装(対幅)	133×49	○
26	村上 華岳	1888-1939	菩薩座像	大正6-13年(1917-24)	絹本・彩色・軸装	131×42	○
27	小野 竹喬	1889-1979	武陵桃源	大正7年頃(c.1918)	絹本・彩色・屏風(六曲一双)	各164×374	○
28	福田平八郎	1892-1974	郷里豊後風景	大正4-7年頃(c.1915-18)	絹本・彩色・軸装	115×40	○
29	速水 御舟	1894-1935	木蓮	大正15年(1926)	彩色・紙・額装	31×64	○
30	速水 御舟		淡紅梅	昭和8年(1933)	彩色・紙・額装	23×36	○
31	速水 御舟		桜	昭和9年(1934)	彩色・紙・額装	30×30	○

<中村 彝>

32	中村 彝	1887-1924	自画像	明治42年頃(c.1909)	油彩・キャンバスボード・額装	32×23	菊池五郎氏寄贈
33	中村 彝		静物	大正2-3年(1913-14)	油彩・麻布・額装	38×46	
34	中村 彝		大島風景	大正4年(1915)	油彩・麻布・額装	23×32	
35	中村 彝		雉子の静物	大正8年(1919)	油彩・麻布・額装	58×50	
36	中村 彝		男の顔	大正9年(1920)	油彩・麻布・額装	46×38	
37	中村 彝		花	大正2年(1923)	油彩・麻布・額装	59×48	

<茨城の洋画家>

38	辻 永	1884-1974	夾竹桃と山羊	大正2年(1913)	油彩・麻布・額装	81×81	
39	辻 永		須磨の朝	昭和31年(1956)	油彩・麻布・額装	72×90	
40	熊岡 美彦	1889-1944	緑衣	大正14年(1925)	油彩・麻布・額装	112×147	
41	栗原 信	1894-1966	リオデジャネロ	昭和33年(1958)	油彩・麻布・額装	73×100	
42	鈴木 良三	1898-1996	ヴァンス風景	昭和5年頃(c.1930)	油彩・麻布・額装	49×65	
43	鈴木 良三		あみもの	昭和5年頃(c.1930)	油彩・麻布・額装	116×81	作者寄贈
44	服部正一郎	1907-1995	花と俑	昭和33年(1958)	油彩・麻布・額装	91×73	
45	服部正一郎		奥久慈風景	昭和47年頃(c.1972)	油彩・麻布・額装	64×80	

<茨城の彫刻と工芸>

46	後藤 清一	1893-1984	母と子	昭和9年(1934)	ブロンズ	28×12×19	◎
47	小森 邦夫	1917-1993	首	昭和25年(1950)	ブロンズ	32×18×22	小森あい氏寄贈 ◎
48	板谷 波山	1872-1963	赭金磁唐華文花瓶		磁器	高さ29	寄託 ◎

◎：5期展示 ○：6期展示

第2 常設展示室

●「木村武山 彩色杉戸絵展」 平成18年4月19日(水)～6月4日(日)

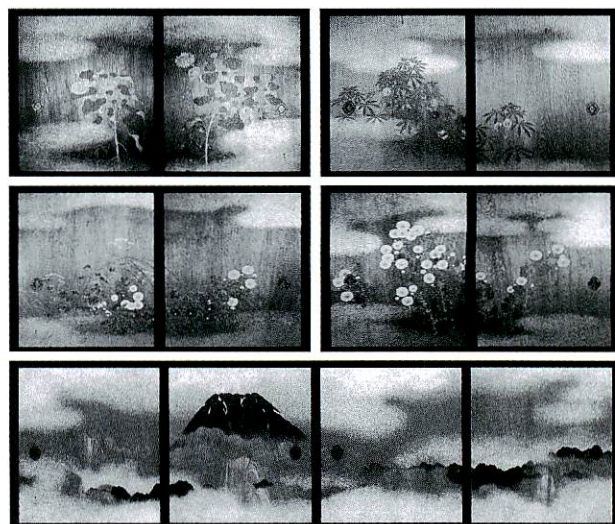
大正時代に造船業で巨万の富を築いた、旧麻生町出身の内田信也の邸宅のために、木村武山が制作した杉戸絵25枚44面を一堂に展示した。本杉戸絵は、阪神淡路大震災の際に幸運にも損傷を免れ、平成13年に当館に寄託されたものである。公開のたびに大きな反響を呼び、今回で6回目の展示となった。

●展示作品

制作年 大正7年頃(c.1918) / 材質 杉戸に彩色

彩色杉戸絵25枚(うち19枚は両面) 全44面

「松図」8面、「富岳図」4面、「紅梅図」2面、「桐図」1面、「日の出図」2面、「四季草花図」22面(11件)、「柏に笹」4面(2件)、「笹に流水」1面



●「武井武雄刊本作品」 平成18年6月7日(水)～7月23日(日)

「刊本作品」は、武井武雄(1894-1983)がライフワークとして取り組んだ書物芸術であり、昭和10年(1935)より約50年の長きにわたり、計139冊が刊行された。製作に当たって武井は挿絵や装丁等こだわりをもって追及し、当時においては廃れてしまった、あるいは新開発の材質や技法を積極的に取り入れた。大量生産に適うものではなく、300冊程度が「親類」と呼ばれた会員のみにも実費で頒布された。当館では、5冊目の「童話帳」以降を所蔵しており、刊本を収める専用の本箱とともに紹介した。

刊本No.	刊本題名	版式	刊出年(西暦)	刊本No.	刊本題名	版式	刊出年(西暦)
5	童話帳	自刻木版	昭和14年(1939)	33	六之助行状	鍍(やすり)孔版	昭和33年(1958)
6	畑の豆本	スクラッチ版	昭和15年(1940)	34	雪の讃頌(さんしょう)	Tandem Print	昭和33年(1958)
7	本朝昔噺	合羽版	昭和16年(1941)	35	近くの世界	原色版	昭和33年(1958)
8	十二時之書	石版	昭和17年(1942)	36	太陽と孔雀	蝕彩金工	昭和34年(1959)
9	伊曾保の絵本	アップリケ原色版	昭和18年(1943)	37	えでんの異変	コロタイプ	昭和34年(1959)
10	風村三代記	伝承木版	昭和19年(1944)	38	Sphe're	特殊網写真版	昭和34年(1959)
11	燈	自刻木版	昭和20年(1945)	39	かなりやABC	グランド孔版	昭和34年(1959)
12	KOKESHI	伝承木版	昭和21年(1946)	40	お化け退場	カラーグラビア	昭和34年(1959)
13	僕の哥留多	自刻木版	昭和21年(1946)	41	ストロ王	Straw mosaic	昭和35年(1960)
14	お猫様	活版・木版	昭和22年(1947)	42	Q子の奇跡	ドライポイント電鍍	昭和35年(1960)
15	牡丹妖記	木版拓本摺	昭和23年(1948)	43	七重と八重	彫紙	昭和35年(1960)
16	のえる之書	糊染	昭和24年(1949)	44	四十四番館	絵入り物語本	昭和35年(1960)
17	乞食の本	自刻木版	昭和25年(1950)	45	林檎と人間	石膏版	昭和36年(1961)
18	聖AGNES之書	木口木版	昭和26年(1951)	46	神々の旗	アルミ詩書	昭和36年(1961)
19	もりどんの話	自刻木版	昭和26年(1951)	47	運のわるい男	木版乾拓	昭和36年(1961)
20	あいそぼすふあぶら	Vari-type木版	昭和27年(1952)	48	宇宙裁縫師	伝承西洋木版	昭和36年(1961)
21	菊妖記	レリーフ拓摺	昭和28年(1953)	49	HAREM	アップリケ	昭和36年(1961)
22	秒間の符	条版	昭和28年(1953)	50	独楽が来た	伝承木版	昭和37年(1962)
23	天竺の花	陶版	昭和28年(1953)	51	天国と地獄	自刻木版可憐判	昭和38年(1963)
24	ARIA	層版紙拓	昭和29年(1954)	52	卵から卵	木綿型染	昭和38年(1963)
25	折鶴物語	瓦版	昭和30年(1955)	53	鬼の郷衛門	Wonder View	昭和38年(1963)
26	胡蝶散策	三色凸版, 変形判	昭和30年(1955)	54	紫の眼鏡	自刻木版可憐判	昭和38年(1963)
27	姫の尺牘(せきとく)	友禅染	昭和30年(1955)	55	ラムラム王	絵入り童話本	昭和39年(1964)
28	霊長異聞	Woven Label	昭和31年(1956)	56	真珠の池	Polystyrenepaper edition	昭和39年(1964)
29	第五の世界	ペンジュラム・グラビア	昭和31年(1956)	57	河童河太郎	自刻木版可憐判	昭和39年(1964)
30	誕生譜	Eau-forte	昭和32年(1957)	58	新らしい地球	Top-Stereo	昭和40年(1965)
31	木魂(こだま)の伝記	寄せ木	昭和32年(1957)	59	人魚と嫦娥(じょうが)	高岡紙螺鈿(らでん)	昭和41年(1966)
32	極秘亭探訪	Cello-slide	昭和33年(1958)	60	Leoの魔法	Relief print	昭和40年(1965)

刊本No.	刊本題名	版式	刊出年(西暦)
61	造物主失踪	自刻木版可憐判	昭和41年(1966)
62	侏儒(しゅじゆ)の饗宴	ろうらくす詩書	昭和41年(1966)
63	祈祷(きとう)の書	Sペランの本	昭和41年(1966)
64	二十世紀の虎	自刻木版可憐判	昭和41年(1966)
65	人生切手	彫刻凹版	昭和41年(1966)
66	さもいや伝	印伝	昭和41年(1966)
67	風・水・火・星	Technamation	昭和41年(1966)
68	逆立勘九郎	自刻木版可憐判	昭和42年(1967)
69	六つの窓	Qper本	昭和42年(1967)
70	悪魔の旗	Embossograph mosaic	昭和42年(1967)
71	湖のひと	Miracle tower	昭和42年(1967)
72	KAGEYA	文字木口木版	昭和42年(1967)
73	鳩と奇術師	静電印刷	昭和42年(1967)
74	笛を吹く城	Sペランのゴブラン織	昭和43年(1968)
75	けちな神様	自刻木版可憐判	昭和43年(1968)
76	あるくJACK	現代ガラス絵	昭和43年(1968)
77	眼球異聞	Rainbow print	昭和44年(1969)
78	モスクワの月夜	自刻木版可憐判	昭和44年(1969)
79	J1(エリ)子の船出	Transart	昭和44年(1969)
80	迅四郎の窓	APRステンドグラス	昭和44年(1969)
81	世界は渦巻	凸版	昭和44年(1969)
82	花園の気流	植毛印刷	昭和45年(1970)
83	世界革命	自刻木版可憐判	昭和45年(1970)
84	平和白書	Thermo Printex	昭和45年(1970)
85	女人禁制	自刻木版可憐判	昭和46年(1971)
86	天とは何か	凸版	昭和46年(1971)
87	呂宋(るそん)お菊	拓摺	昭和47年(1972)
88	瓢箪作家	Coupageの凸版	昭和47年(1972)
89	面倒無用党	レリーフ写真版	昭和47年(1972)
90	現代の神々	伝承木版	昭和47年(1972)
91	虹を作る男	自刻木版可憐判	昭和48年(1973)
92	小萩抄	凸版	昭和48年(1973)
93	おかしな象の話	素描凸版	昭和48年(1973)
94	高杉晋作	多色オフセット	昭和48年(1973)
95	造物主御帰還	自刻木版可憐判	昭和48年(1973)
96	双青の夢	自刻木版可憐判	昭和49年(1974)
97	RomとRam	皮革印刷	昭和49年(1974)
98	金色の森	金線印刷	昭和49年(1974)
99	どん・きぼうて	Coupageの凸版	昭和49年(1974)
100	雄鶏ルコック	エンボス	昭和50年(1975)

刊本No.	刊本題名	版式	刊出年(西暦)
101	小さな雪女	Snow View	昭和50年(1975)
102	狗猿考	自刻木版可憐判	昭和50年(1975)
103	洗脳奉行	四色凸版	昭和50年(1975)
104	天狗天八郎	多色孔版	昭和50年(1975)
105	珍和名抄	自刻木版可憐判	昭和51年(1976)
106	半介の神様	凸版	昭和51年(1976)
107	アイウエ王物語	多色オフセット	昭和51年(1976)
108	ナイルの葦	パピルス造本	昭和55年(1980)
109	王様の馬車と乞食の馬車	自刻木版可憐判	昭和51年(1976)
110	京之介と千草	木版、凸版・EXLIBRIS構成	昭和52年(1977)
111	提灯の詩	ヴェイパル造本	昭和52年(1977)
112	鼠小僧下呂吉	孔版、凸版	昭和52年(1977)
113	雷おさん	自刻木版可憐判	昭和52年(1977)
114	紺次とお丹	Sealing Print	昭和52年(1977)
115	人生の門	凸版可憐判	昭和53年(1978)
116	鬚蘭の鯉	金箔剪紙(せんし)	昭和53年(1978)
117	ルイとカンナ	パフボード版	昭和53年(1978)
118	袖の下	自刻木版可憐判	昭和54年(1979)
119	エリアナ姫と蝶	アルミナ磁器	昭和54年(1979)
120	花竜と狸	凸版三色刷	昭和54年(1979)
121	車夫萬五郎	凸版二色刷	昭和54年(1979)
122	珍竹林(ちんちくりん)之命	凸版二色刷	昭和54年(1979)
123	番傘奇譚	パフボード版	昭和54年(1979)
124	可平と猫	凸版二色刷	昭和54年(1979)
125	シンの魔法	自刻木版可憐判	昭和54年(1979)
126	べら棒物語	賦形熱版	昭和55年(1980)
127	加藤清正	凸版三色刷	昭和55年(1980)
128	百済の仙人	凸版	昭和56年(1981)
129	裸女ネサイ	自刻木版可憐判	昭和55年(1980)
130	月から来た子	凹式金線版	昭和56年(1981)
131	千手観音	版画仙紙本、墨絵オフセット	昭和56年(1981)
132	陶工栗衛門の妻	自刻木版可憐判	昭和56年(1981)
133	風神と雷神	蒲葉(がまは)抄紙本	昭和57年(1982)
134	赫夜姫(かぐやひめ)後日譚	凸版三色刷	昭和57年(1982)
135	釣鐘異聞	彩雲紙、凸版	昭和57年(1982)
136	いそなげき	all stamping(銀)	昭和57年(1982)
137	ABC夜話	自刻木版と凸版併用の可憐判	昭和57年(1982)
138	鳥遣いの乙女	Laser光線cut	昭和58年(1983)
139	天竺の鳥	印度産手漉紙本文、印度更紗装、凸版二色刷	昭和58年(1983)

●木内克一 女体礼讃一 平成18年7月26日(水)～9月18日(月・祝)

女性の肉体のもつ生命力と美に魅せられた木内克一の特集展示。木内の裸婦像の代表作を一堂に展示した。

No.	作品名	制作年	材質	サイズ(縦×横) 高さ×幅×奥行	備考
＜ブロンズ・テラコッタ＞					
1	女の顔	昭和4年(1929)	テラコッタ	35.5×23×36	
2	裸婦	昭和10年(1935)	ブロンズ	38×19.7×16.5	大塚寅藏氏寄贈
3	足をあげる女	昭和24年(1949)	ブロンズ	65×54×32	田中 正氏寄贈
4	手をつく女	昭和25年(1950)	ブロンズ	44.5×24×55.5	
5	裸婦	昭和25年(1950)	ブロンズ	34×53×54.5	
6	裸婦	昭和25年頃(c.1950)	ブロンズ	35×50×43	
7	太陽とアマゾーン	昭和27年(1952)	ブロンズ・レリーフ	26.5×41	田中 正氏寄贈
8	坐裸婦	昭和27年(1952)	テラコッタ	36.5×15.8×17.7	田中 正氏寄贈
9	坐裸婦	昭和31年(1956)	ブロンズ	39×34×26	田中 正氏寄贈
10	女	昭和31年(1956)	テラコッタ	85.5×34.5×46	
11	裸婦	昭和32年(1957)	ブロンズ	91×23.5×36	寄託

No.	作品名	制作年	材質	サイズ(高さ×幅×奥行)/cm	備考
12	女	昭和32年 (1957)	ブロンズ	110×87.5×46.5	
13	裸婦	昭和33年 (1958)	テラコッタ	65×50×55	寄託
14	裸婦	昭和35年 (1960)	テラコッタ	37×30×19	今橋 亮氏寄贈
15	立ってる女	昭和36年 (1961)	ブロンズ	184×102×50	寄託
16	自刻像 (生活)	昭和43年 (1968)	テラコッタ	78×29×32	

<ブロンズ・テラコッタ>

17	人魚	昭和44年 (1969)	ブロンズ	44.8×36×24	田中 正氏寄贈
18	婦人誕生	昭和45年 (1970)	ブロンズ	192×49×58	
19	首のあるトルソ	昭和45年 (1970)	テラコッタ	63.5×24×23	寄託
20	鳩を持つ女	昭和49年 (1974)	ブロンズ	82.5×35×26	田中 正氏寄贈
21	たまゆら	昭和50年 (1975)	ブロンズ	105×66.5×25	田中 正氏寄贈

<てびねり作品>

22	裸婦像	昭和33年 (1958)	テラコッタ	20×14×15	
23	裸婦像	明治34年 (1959)	テラコッタ	28×12×11	
24	裸婦像	昭和34年 (1959)	テラコッタ	18.8×17.7×11.6	
25	裸婦像	昭和35年 (1960)	テラコッタ	19.5×12×13.5	
26	裸婦像	昭和36年 (1961)	テラコッタ	7.6×28×6	
27	坐裸婦	昭和37年頃 (c.1962)	テラコッタ	26.2×20×18.6	田中 正氏寄贈
28	墜ちた天使	昭和42年 (1967)	彩釉・陶	6.8×8.6×5.5	田中 正氏寄贈
29	裸婦像	昭和45年頃 (c.1970)	ブロンズ	10×20.2×3.8	土屋喜美子氏寄贈
30	裸婦	昭和46年 (1971)	ブロンズ (ローマ蠟型)	21.1×8.8×8.2	田中 正氏寄贈
31	裸婦	昭和46年 (1971)	ブロンズ (ローマ蠟型)	16.5×4×12.5	田中 正氏寄贈
32	うづくまる裸婦	昭和47年頃 (c.1972)	テラコッタ	9.5×24.5×10.8	田中 正氏寄贈
33	裸婦	昭和49年 (1974)	テラコッタ	20.2×23.5×11.4	田中 正氏寄贈
34	裸婦	昭和49年 (1974)	テラコッタ	24.8×9.5×21.6	田中 正氏寄贈
35	裸婦	昭和51年 (1976)	テラコッタ	21.7×9.9×23.5	田中 正氏寄贈
36	女の座像	不詳	彩釉・陶	18.5×4.5×8.3	土屋喜美子氏寄贈
37	裸婦	不詳	彩釉・陶	12×18×5.5	土屋喜美子氏寄贈
38	坐裸婦	不詳	彩釉・陶	7.8×4.8×5	田中 正氏寄贈

<素描>

39	裸婦	昭和25年 (1950)	鉛筆・紙	34.5×24	田中 正氏寄贈
40	裸婦	昭和32年 (1957)	墨・紙	26.2×36.9	田中 正氏寄贈
41	背面裸婦	昭和34年 (1959)	鉛筆・淡彩・紙	33.5×16	田中 正氏寄贈
42	そり返る裸婦 (B)	昭和45年 (1970)	コンテ・紙	54.6×38.2	作者寄贈
43	右手をつく裸婦	昭和45年 (1970)	クレパス・紙	54.6×38.2	作者寄贈

<西洋絵画>

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法(縦×横)cm	備考
44	ピサロ, カミーユ	1830-1903	グルーエットの丘からの眺め, ポントワーズ	1878年	油彩・麻布・額装	55×65	(株)常陽銀行寄贈
45	シスレー, アルフレッド	1839-1899	葦の川辺一夕日	1890年	油彩・麻布・額装	54×73	

●ベスト・セレクション 平成18年9月21日(木)~11月3日(金・祝)

当館の所蔵する西洋絵画, 日本近代洋画の名品を一堂に展示した。

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	サイズ(縦×横)cm	備考
<西洋絵画>							
1	クールベ, ギュスターヴ	1819-1877	フランシュ=コンテの谷, オルナン付近	c.1865	油彩・麻布・額装	60×91	
2	ピサロ, カミーユ	1830-1903	グルーエットの丘からの眺め, ポントワーズ	1878	油彩・麻布・額装	55×65	(株)常陽銀行寄贈
3	マネ, エドゥアール	1832-1883	白菊の図	1881	油彩・紙・額装	17×59	
4	シスレー, アルフレッド	1839-1899	葦の川辺・夕日	1890	油彩・麻布・額装	54×73	
5	モネ, クロード	1840-1926	ポール=ドモワの洞窟	1886	油彩・麻布・額装	65×83	
6	ルノワール, オーギュスト	1841-1919	マドモワゼル・フランソワ	1917	油彩・麻布・額装	52×42	
7	カリエール, ウジェーヌ	1849-1906	母と娘	不詳	油彩・麻布・額装	103×162	志村巖氏寄贈

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法(縦×横)cm	備考
<油彩画・水彩画>							
8	黒田 清輝	1866-1924	箱根宿	明治29年(1896)	油彩・麻布・額装	41×27	
9	藤島 武二	1867-1943	ボンペイの廃墟	明治41年頃(c.1908)	油彩・板・額装	26×35	
10	児島虎次郎	1881-1929	ストックホルム	大正11年(1922)	油彩・麻布・額装	57×67	
11	藤田 嗣治	1886-1968	インディアンの男女	昭和8年(1933)	水彩・紙・額装	52×42	
12	中村 彝	1887-1924	裸体	大正5年(1916)	油彩・麻布・額装	99×80	
13	小出 檜重	1887-1931	毛糸の束	大正15年(1926)	油彩・麻布・額装	53×72	
14	安井曾太郎	1888-1955	安倍能成氏像	昭和19年(1944)	油彩・麻布・額装	63×48	
15	梅原龍三郎	1888-1986	臥裸婦図	大正13年(1924)	油彩・麻布・額装	45×60	
16	国吉 康雄	1889-1953	二頭の牛	大正11年(1922)	油彩・麻布・額装	51×41	
17	牧野 虎雄	1890-1946	向日葵	昭和4年頃(c.1929)	油彩・麻布・額装	73×60	
18	岸田 劉生	1891-1929	路傍秋晴 (大連風景)	昭和4年(1929)	油彩・麻布・額装	38×45	
19	木村 荘八	1893-1958	静物	大正6年頃(c.1917)	油彩・麻布・額装	38×45	
20	児島善三郎	1893-1962	婦人像	大正14・昭和3(1925・28)	油彩・麻布・額装	58×42	
21	古賀 春江	1895-1933	卓上静物	大正13年頃(c.1924)	油彩・麻布・額装	72×60	
22	前田 寛治	1896-1930	帽子の男 (沼沢三郎氏像)	昭和2年(1927)	油彩・麻布・額装	91×73	
23	佐伯 祐三	1898-1928	コルドヌリ (靴屋)	大正14年頃(c.1925)	油彩・麻布・額装	54×47	

<版画>

24	前川 千帆	1888-1960	新東京百景ー渋谷百軒店	昭和4年(1929)	木版・紙・額装	24×18	
25	永瀬 義郎	1891-1978	風景 (河口湖)	昭和2年(1927)	木版・紙・額装	15×20	永瀬テル子氏寄贈
26	長谷川 潔	1891-1980	コップに挿した種子草	昭和36年(1961)	メゾチント・紙・額装	35×26	
27	浜口 陽三	1909-2000	黒いさくらんぼ	昭和39年(1964)	カラーメゾチント・紙・額装	20×25	

●洋行する画家たち 平成18年12月5日(火)～平成19年1月21日(日)

企画展「村山密」展にあわせて洋行の経験のある洋画家の作品を選び、油彩画の技法の本拠地であり、文化的な憧れの地でもあった西洋体験を反映させた作品を紹介した。

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	サイズ(縦×横)cm	備考
<油彩画>							
1	藤島 武二	1867-1943	ボンペイの廃墟	明治41年頃(c.1908)	油彩・板・額装	26×35	
2	吉田 博	1876-1950	ヨセミテの谷	大正13年(1924)	油彩・麻布・額装	80×61	
3	児島虎次郎	1881-1929	ストックホルム	大正11年(1922)	油彩・麻布・額装	58×68	
4	遠山 五郎	1888-1928	西洋婦人	大正11年(1922)	油彩・麻布・額装	78×91	寄託
5	安井曾太郎	1888-1955	フランス風景	明治44・大正元年(1911・12)	油彩・麻布・額装	50×61	
6	熊岡 美彦	1889-1944	カーニュ晩秋	昭和4年(1929)	油彩・麻布・額装	71×89	
7	国吉 康雄	1889-1953	二頭の牛	大正11年(1922)	油彩・麻布・額装	51×41	
8	平賀 亀祐	1889-1971	キオッジャ(ヴェネツィア)	昭和41年(1966)	油彩・麻布・額装	64×53	
9	高島達四郎	1895-1976	ヴィンチ村	昭和49年(1974)	油彩・麻布・額装	53×73	
10	前田 寛治	1896-1930	婦人像	大正14年(1925)	油彩・麻布・額装	66×53	
11	安藤 信哉	1897-1983	一隅	昭和38年(1963)	油彩・麻布・額装	117×117	安藤いそ氏寄贈
12	佐伯 祐三	1898-1928	コルドヌリ (靴屋)	大正14年頃(c.1925)	油彩・麻布・額装	54×47	
13	鈴木 良三	1898-1996	あみもの	昭和5年頃(c.1930)	油彩・麻布・額装	116×81	作者寄贈
14	鈴木 良三		グラス風景	昭和6年(1931)	油彩・麻布・額装	130×162	作者寄贈
15	稲村 退三	1901-1994	アルルの跳ね橋	平成3年(1991)	油彩・麻布・額装	53×63	作者寄贈
16	鳥海 青児	1902-1972	闘牛	昭和7年(1932)	油彩・麻布・額装	97×181	
17	三岸 節子	1905-1999	エッフェル塔	昭和60年(1985)	油彩・麻布・額装	110×110	
18	山口 薫	1907-1968	カッシス風景	昭和8年(1933)	油彩・麻布・額装	65×80	
19	森田 茂	1907-	ベニス	昭和37年(1962)	油彩・麻布・額装	59×71	
20	木村 忠太	1917-1987	プロヴァンス地方の家	昭和62年(1987)	油彩・麻布・額装	130×162	
21	木村 忠太		丘上の農家B (ポルトガル)	昭和62年(1987)	油彩・麻布・額装	100×100	

<水彩画>

22	佐伯 祐三	1898-1928	アッシジの聖堂	大正15年(1926)	水彩・紙・額装	31×24	
23	中西 利雄	1900-1948	ルーブルの庭	昭和5年(1930)	水彩・紙・額装	46×70	
24	中西 利雄		ノートルダム寺院	昭和5年(1930)	水彩・紙・額装	55×70	

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	サイズ(縦×横)cm	備考
<西洋美術>							
25	ピサロ, カミーユ	1830-1903	グルーエットの丘からの眺め, ポントワーズ	1878年	油彩・麻布・額装	55×65	(株)常陽銀行寄贈
26	シスレー, アルフレッド	1839-1899	葦の川辺 - 夕日	1890年	油彩・麻布・額装	54×73	
27	モネ, クロード	1840-1926	ポール＝ドモワの洞窟	1886年	油彩・麻布・額装	65×83	
28	ルノワール, オーギュスト	1841-1919	マドモワゼル・フランソワ	1917年	油彩・麻布・額装	52×42	

● ザ・ヌード 平成19年1月24日(水)～4月15日(日)

所蔵品の中から、ヌードにテーマを絞り、各作家がどのような視点でどのように表現したかを紹介することによりその魅力に迫った。

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	サイズ(縦×横×高さ)cm	備考
<油彩画>							
1	石井 柏亭	1882-1958	少女浴泉	昭和11年(1936)	油彩・麻布・額装	45×37	
2	藤田 嗣治	1886-1968	横たわる裸婦	昭和2年(1927)	油彩・麻布・額装	81×100	
3	中村 彝	1887-1924	裸婦習作	明治41年(1908)	油彩・麻布・額装	80×61	
4	中村 彝		裸体	大正5年(1916)	油彩・麻布・額装	100×81	
5	安井曾太郎	1888-1955	寝たる女	大正元年(1912)	油彩・麻布・額装	46×53	
6	梅原龍三郎	1888-1986	裸婦図	大正11年頃(c.1922)	油彩・麻布・額装	117×91	
7	梅原龍三郎		臥裸婦図	大正13年(1924)	油彩・麻布・額装	46×61	
8	熊岡 美彦	1889-1944	裸体	昭和3年(1928)	油彩・麻布・額装	133×199	
9	寺内萬治郎	1890-1964	うずくまる裸婦	昭和35年(1960)	油彩・麻布・額装	91×73	
10	保田 龍門	1891-1965	男(習作)	大正2・3年頃(c.1913-14)	油彩・麻布・額装	65×48	
11	里見 勝蔵	1895-1981	女	昭和5年頃(c.1930)	油彩・麻布・額装	74×100	
12	山口 薫	1907-1968	裸婦	昭和10年(1935)	油彩・麻布・額装	68×94	

<水彩画・素描>

13	小出 楯重	1887-1931	裸婦	昭和5年頃(c.1930)	水彩・紙・額装	30×51	
14	木内 克	1892-1977	裸婦	昭和32年(1957)	墨・紙・額装	26×37	田中正氏寄贈
15	木内 克		背面裸婦	昭和34年(1959)	鉛筆・淡彩・紙・額装	34×16	田中正氏寄贈
16	木内 克		裸婦	昭和34年(1959)	鉛筆・淡彩・紙・額装	29×20	田中正氏寄贈
17	小磯 良平	1903-1988	二人裸婦	昭和31年頃(c.1956)	油彩・パステル等・紙・額装	56×71	
18	麻生 三郎	1913-2000	裸婦	昭和24・25年(1949-50)	水彩・紙・額装	40×27	
19	麻生 三郎		裸婦	昭和35年(1960)	水彩・紙・額装	27×24	

<版画>

20	柳原 義達	1910-2004	道標一鳩と裸婦 裸婦(1)	昭和57年(1982)	リトグラフ・紙	33×43	
21	柳原 義達		道標一鳩と裸婦 裸婦(2)	昭和57年(1982)	リトグラフ・紙	43×32	

<彫刻>

22	戸張 孤雁	1882-1927	トルソー	大正14年(1925)	ブロンズ	20×9×8	
23	高村光太郎	1883-1956	裸婦座像	大正6年(1917)	ブロンズ	28×14×14	
24	中原悌二郎	1888-1921	憩える女	大正8年(1919)	ブロンズ	31×16×37	
25	木内 克	1892-1977	女	昭和31年(1956)	テラコッタ	86×35×46	
26	柳原 義達	1910-2004	犬の唄	昭和36年(1961)	ブロンズ	153×62×62	
27	土谷 武	1926-2004	裸婦(坐像)	昭和28年(1953)	ブロンズ	107×53×87	作者寄贈
28	土谷 武		たつI - a	昭和34年(1959)	ブロンズ	102×24×20	作者寄贈

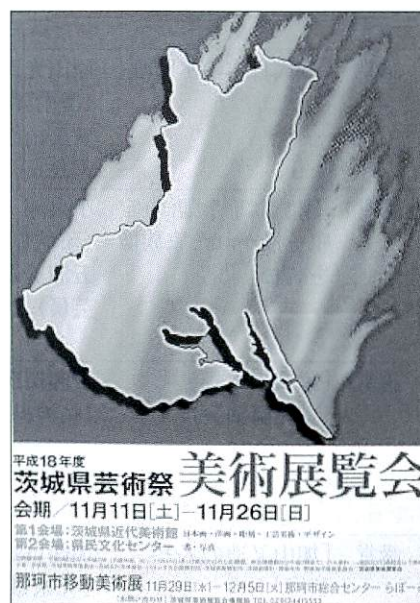
<西洋美術>

29	ピサロ, カミーユ	1830-1903	グルーエットの丘からの眺め, ポントワーズ	1878年	油彩・麻布・額装	55×65	(株)常陽銀行寄贈
30	シスレー, アルフレッド	1839-1899	葦の川辺 - 夕日	1890年	油彩・麻布・額装	54×73	
31	ルノワール, オーギュスト	1841-1919	マドモワゼル・フランソワ	1917年	油彩・麻布・額装	52×42	
32	カリエール, ウジェーヌ	1849-1906	裸体	不詳	油彩・麻布・額装	32×39	志村巖氏寄贈

3 茨城県芸術祭美術展覧会 《日本画・洋画・彫刻・工芸美術・デザイン》

- 会期 平成18年11月11日(土)～11月26日(日)
- 主催 茨城県／茨城県教育委員会／茨城文化団体連合／いばらき文化振興財団／茨城県教育財団／茨城新聞社／茨城県美術展覧会
- ポスター B2
- 入場者数 11,566名
- 観覧料 800円
- 出品点数

日本画	173点
洋画	390点
彫刻	58点
工芸美術	173点
デザイン	117点
合計	911点



II 普及活動

1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、多くの方々に展覧会の周知を図り、県民の美術への親しみや関心を深める。

(1)講演会

会場 当館地階講堂（定員250名）

参加費 無料

期日	会場	講演名	講師	内容	参加人数
18・4・22	講堂	「山口勝弘と20世紀のメディア・アート」	井口壽乃氏 (埼玉大学助教授)	ビデオや印刷、通信機器といった、様々なメディア・テクノロジーを用いて制作され、近年ではコンピュータなどを取り入れて、多様な展開を見せるメディア・アート。その先駆者の一人が山口勝弘である。この講演会では、メディア・アートを含め、近現代の新しい美術の動向を研究されている井口壽乃氏にメディア・アートの流れと山口勝弘の芸術について講演いただいた。	49